HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

保証書・据付説明書別添付

日立ルームエアコン

形名

室内機	室外機
RAF-D36C	RAC-FD36C
RAF-D40C2	RAC-FD40C2
RAF-D50C2	RAC-FD50C2

このたびは、日立ルームエアコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
小さいお子様などにつきましても安全のために、警告・注意に記載されている部分に触れることのないようくれぐれもご注意ください。お読みになった取扱説明書は、保証書・据付説明書とともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」➔P.4～7 をお読みいただき、正しくお使いください。

この製品はオゾン層を破壊しない冷媒を使用しています。

このルームエアコンは、一般家庭の人を対象とした空調を目的とするものです。
食品・動植物・精密機器・美術品・医薬品等の保存には使わないでください。
また、能力以上の負荷で使用しないでください。

家庭用ルームエアコンには最大でCO_2（温暖化ガス）3,600㎏に相当するフロン類が封入されています。地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄等にあたってはフロンの回収が必要です。

【冷媒の「見える化」表示について】
この表示は、家庭用エアコンに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることを、ご認識いただくための表示です。エアコンの取り外し時はフロンの回収が必要です。廃棄時には家電リサイクル法の制度に基づき適正な引き渡しをしていただければ、確実にフロンの適正処理がなされます。

日本国内家庭用
Use only in Japan.

おすすめかんたんガイド

◇寒いとき、ワンボタン暖房

（☞20ページ）

◇梅雨の季節から冬まで、カラッと快適

（☞22・23ページ）

押すたびに

- カラッと除湿：ジメジメするとき
- ランドリー：洗濯物を乾かしたいとき
- けつろ抑制：冬場の結露を抑えたいとき

◇暑いとき、ワンボタン冷房

（☞21ページ）

◇運転・停止ボタン

- 停止状態のとき、リモコンに表示されている運転モードで運転を開始します。
- 運転状態のとき、運転を停止します。

◇健康冷房「涼快」

夏は、手足が冷えすぎず、カラッと涼しい。

涼·快

（☞24ページ）

◇ミストで清潔 ミストでさわやか

お部屋のにおいが気になるとき

イオンミスト

（☞26ページ）

◇おやすみタイマー

おやすみ

（☞38・39ページ）

押すたびに
30分・1時間・2時間…9時間
タイマー時間を変更できます。

もくじ

安全上のご注意

必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■表示と内容を無視して誤った使い方をしていたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し説明しています。

⚠警告 …… この表示の欄は、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

⚠注意 …… この表示の欄は、「傷害を負うおそれまたは物的損害を生じるおそれがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。		このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保存してください。

据え付け上の注意事項

⚠警告

●**改造は行わない**
改造を行いますと、水漏れ・故障・感電・火災の原因になります。

禁止

●**据え付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する**
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災の原因になります。

強制

●**アース（接地）を確実に行う**
●**アース工事は、販売店または専門業者に依頼する**
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線などに接続しないでください。
アース（接地）が不確実な場合は、故障や漏電のときに感電や火災の原因になります。

アース線接続

⚠注意

●**湿気の多いところ、雨水など水気のあるところに設置するときは、漏電しゃ断器を取り付ける**
漏電しゃ断器が取り付けられていないと、感電の原因になることがあります。

強制

●**可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは、設置しない**
万一ガスが漏れて室外機の周囲にたまると、発火して火災の原因になることがあります。

禁止

●**除湿水は、確実に排水できるようにする**
排水経路に不備があると、室内・室外機から水が滴下し、家財などを濡らす原因になることがあります。

強制

●**指定以外の電源に接続しない**
指定以外の電源を使うと、電気部品が発熱し、火災の原因になります。

強制

⚠警告

使用上の注意事項

- **長時間冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎたりしない**
  体調悪化や健康障害の原因になります。

- **長時間温風の吹き出し口付近で、皮膚の同じ場所を暖めるようなご使用は行わない**
  低温やけどや脱水症状などの原因になります。

- **室内・室外機の吹き出し口や吸い込み口をふさいだり、指や棒などを入れない**
  内部でファンが高速回転しておりますので、けがや故障の原因になります。
  また、性能が低下します。

- **異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して専用ブレーカーを“OFF”にしてお買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口に依頼する**
  異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。

- **安全器のヒューズの代わりに、針金や銅線などを使わない**
  故障や火災の原因になります。

- **落雷のおそれがあるときは、運転を停止し、専用ブレーカーを“OFF”にする**
  落雷の程度によっては、故障の原因になります。

- **エアコンが冷えない、暖まらない場合は冷媒の漏れが原因のひとつとして考えられるので、お買い上げの販売店に相談する**
  エアコンに使用されている冷媒そのものは無害です。万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロ等の火気に触れると有害な生成物が発生します。刺激臭があるときには、すぐにエアコンを停止し窓等を開けて換気し、販売店にご連絡ください。

- **室内機内部の洗浄はお客様自身では行わない**
  エアコンの洗浄には専門技術が必要なため、お買い上げの販売店に相談する
  市販の洗浄剤などを使用しますと、樹脂部品の割れや排水経路の詰まりに至ることがあり、水たれや感電の原因にもなります。また、洗浄剤がイオンミスト発生器の電極、電気品やモーターにかかると、感電や火災の原因になります。

安全上のご注意（つづき）

⚠注意

使用上の注意事項

- **このエアコンは、一般家庭の人を対象とした空調を目的としたものですので、食品・動植物・精密機器・美術品・医療品等の保存など特殊用途には使用しない**
  これらの品物の品質低下の原因になることがあります。また、エアコンの機能や性能の低下、および故障の原因になることがあります。

- **ぬれた手で、スイッチを操作しない**
  感電の原因になります。

- **燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気を行う**
  換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。

- **エアコンの風が直接あたる所に、燃焼器具を置かない**
  燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。

- **長期間の使用で、傷んだままの据付台などで使用しない**
  室外機の落下につながり、けがなどの原因になります。

- **エアコンを水洗いしたり、花瓶などの水の入った容器をのせたりしない**
  漏電によって、感電や発火の原因になります。

- **動植物に直接風があたる場所には設置しない**
  動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。

- **掃除をするときは必ず運転を停止し、専用ブレーカーを“OFF”にする**
  内部でファンが高速回転しておりますので、けがや故障の原因になります。

- **長期間使わない場合は、安全のため専用ブレーカーを“OFF”にする**
  ホコリがたまって、発熱し火災の原因になることがあります。

- **室外機や室内機の上に乗ったり、物を載せたりしない**
  落下や転倒などにより、けがの原因になります。

⚠注意

使用上の注意事項

- **冷房・カラッと除湿・涼快運転時、窓や戸を開放した状態（部屋の湿度が80%を超えたまま）などで長時間運転をしない**
  上下風向板に露がつき、ときには露が落ち、家財を濡らす原因になることがあります。

禁止

- **能力以上の負荷（冷房・暖房能力以上の広い部屋や大勢の人が居るなど）で使用しない**
  設定室温に達しないことや、露が落ちて家財を濡らす原因になることがあります。

禁止

- **室外機の吸い込み口や底面、アルミフィンにさわらない**
  けがの原因になります。

接触禁止

- **冷媒配管パイプや接続バルブにさわらない**
  やけどの原因になります。

接触禁止

- **エアコンの清掃時には、手袋を着用する**
  けがの原因になります。

強制

- **暖房運転時、空気吹き出し口や室内機の前方50cm以内に家具などの障害物を置かない**
  エアコン自体や家具などが変形する原因になります。

禁止

⚠警告

移設・修理時の注意事項

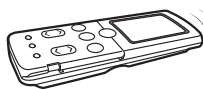
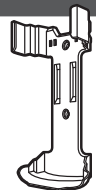
- **修理は、お買い上げの販売店または、修理窓口に依頼する**
  ご自分で修理をされ不備があると、感電や火災の原因になります。

強制

- **エアコンを移動・再設置する場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口に依頼する**
  ご自分で移動・再設置され、不備があると、感電や火災の原因になります。

強制

各部の名称と働き①

◇室内機

室外機について

- 運転を「停止」にしても、室外機のファンは電気部品を冷やすために10～60秒間回り続けます。
- 暖房時には、室外機より凝縮水や霜取り時の水が流れ出ます。寒冷地ではこれらの水が氷結してしまうこともありますので、室外機に設けてある排水口をふさがないでください。
- “冷房”運転時にも配管等に結露した凝縮水が流れ出ることがあります。

各部の名称と働き②

◇室内機操作部

◆主操作ボタン

運転／停止ボタン

押すと運転、 もう一度押すと停止します。
(☞**17**ページ)

おさえめ運転ボタン

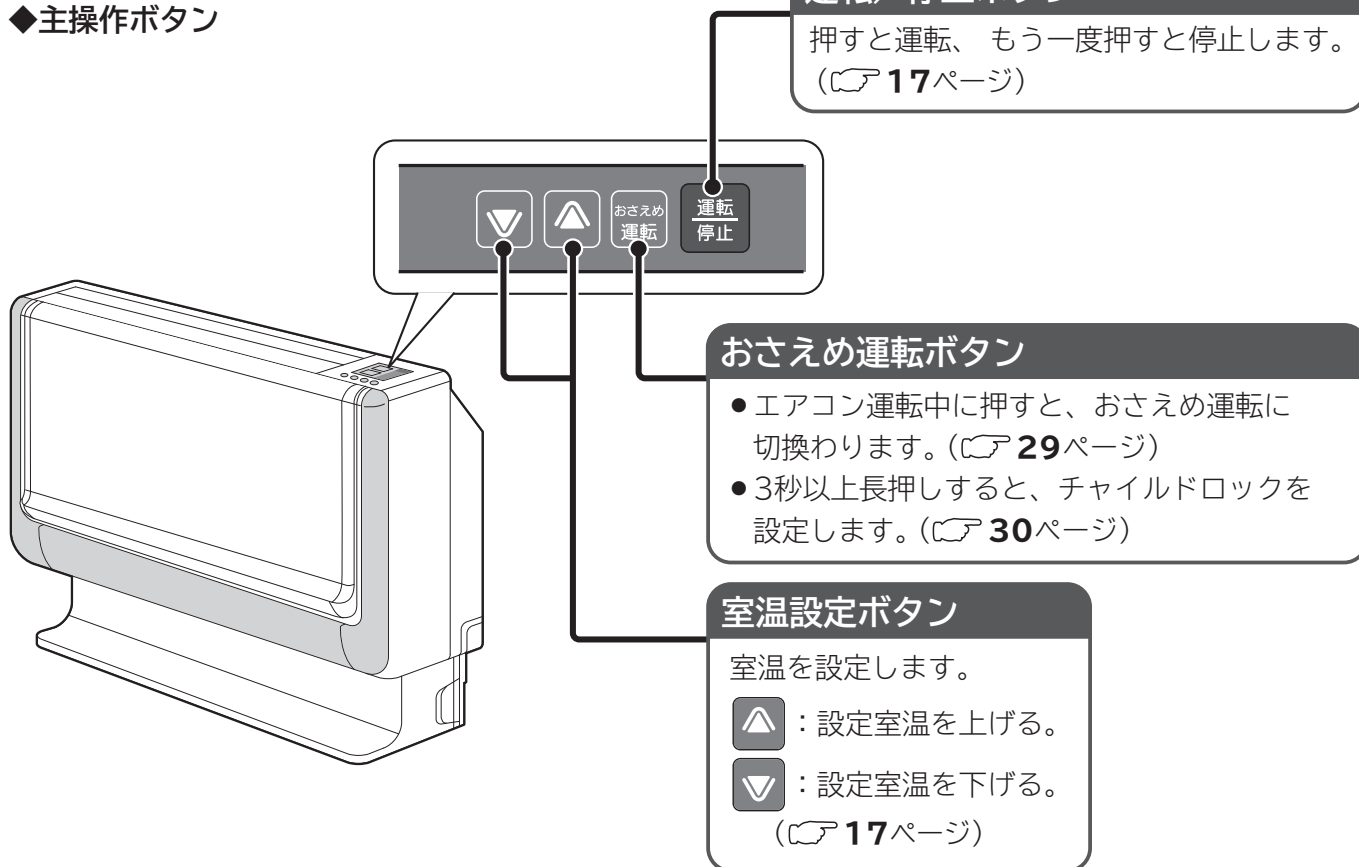
- エアコン運転中に押すと、おさえめ運転に切換わります。(☞**29**ページ)
- 3秒以上長押しすると、チャイルドロックを設定します。(☞**30**ページ)

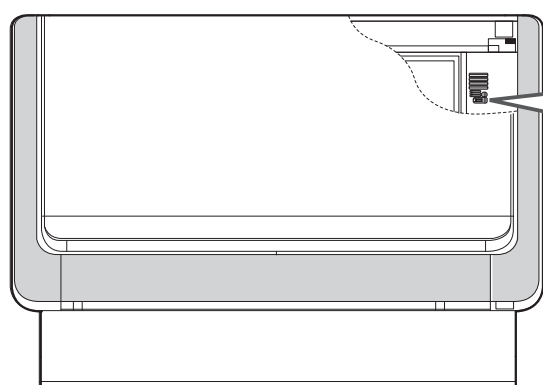
室温設定ボタン

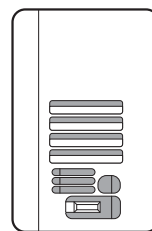
室温を設定します。

△：設定室温を上げる。

▽：設定室温を下げる。

(☞**17**ページ)

◇フロントパネル内側操作部

◆フロントパネルを開けて操作します。 (フロントパネルの開けかたは ☞**16**ページ)

応急運転スイッチ(強制冷房スイッチ)

電池切れなどで、リモコンが使えないとき、応急運転スイッチを押すと、応急運転を行います。
(☞**45**ページ)

(5秒間長押しすると、強制冷房運転します。
これは販売店で行う操作ですので、お客様は操作しないでください。(☞**45**ページ))

☆電源が入っていると運転していなくても、制御回路内で微少ですが、電気を消費します。
ブレーカーを“OFF”にすることで、節電効果があります。

⚠注意

長期間使わないときは、専用ブレーカーを“OFF”にする。

お願い

外気温が低いときは、停止中でも機械保護のため室外機に通電されます。
寒い季節はブレーカーを“OFF”にしないでください。(☞**19**ページ)

各部の名称と働き③

◇室内機表示部

チルトアップをすると、リモコンの信号を受信しやすくなります。

表示部の左側面にある凹部に指を入れて持ち上げると表示部を約60°の角度に立上げること（チルトアップ）ができます。

受信部

運転ランプ（黄色）

●点灯

暖房・カラッと除湿・冷房・涼快・イオンミスト・内部クリーン・ホットモード・おさえめ運転中。（☞**20〜29**ページ）

●点灯したり暗くなったりの繰り返し　（故障ではありません。）

予熱運転	運転開始後の2〜3分間で室内機の熱交換器を暖めています。
霜取り運転	室外機の熱交換器に霜が付いた場合に、一旦、暖房運転を停止し、霜取り運転を行っています。（ご使用条件により、霜取り運転に入るひん度が変わります。）
オートフレッシュ霜取り運転	運転を停止したときに、室外機の熱交換器に霜が付いていた場合、霜取り運転を行っています。

タイマーランプ（橙色）

●点灯

タイマー予約時。（☞**34〜39**ページ）

●点滅

強制冷房運転時、室内故障時。（☞**44・45**ページ）お買い上げの販売店にご相談ください。

おさえめランプ（緑色）

●点灯

おさえめ運転時。（☞**29**ページ）

イオンミストランプ（黄色）

●点灯

ランドリー・イオンミスト・内部クリーン運転中。（☞**22・26・27**ページ）

●点滅

イオンミスト発生器故障時。イオンミスト運転はできませんが、エアコンの他の機能は影響なく運転することができます。（☞**45**ページ）

設定室温表示部（赤色）

●点灯

リモコンまたは室内機ボタンで設定された室温を表示します。（☞**11**ページ）

現在室温表示部（赤色）

●点灯

室内機で読みとった室温を表示します。（☞**11**ページ）

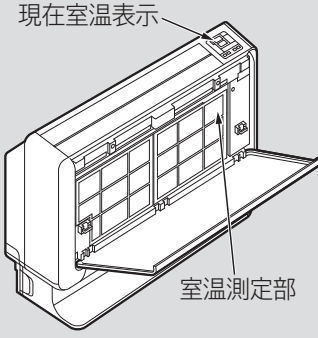
☆「運転中室内機表示部が明るく感じるときは」☞**42**ページをご覧ください。

設定室温表示部

◆リモコンまたは室内機ボタンで設定された室温を表示します。

設定室温表示可能範囲：10～32℃（☞**17・18**ページ）

但し、次のような場合は以下の表示となります。

- ブレーカーを“ON”した後、初めて室内機の [運転停止] ボタンで運転された場合、暖房・カラッと除湿・冷房いずれかの運転になります。
  運転の種類が確定すると暖房の場合「23℃」、カラッと除湿の場合「室内機読みとり室温」、冷房の場合「27℃」で設定室温が表示されます。

- チャイルドロック設定中には、室内機設定室温表示部に [表示] が点灯します。（☞**30**ページ）

※エアコン停止中は温度表示されません。

現在室温表示部

◆室内機で読みとった室温を表示します。

現在室温表示可能範囲：00～49℃（0℃以下は全て「00」と表示されます。）

- 運転の種類が確定すると現在室温を表示します。

現在室温の表示は、目安です。

- 表示する現在室温は室温測定部で読みとった数値ですので、お部屋の温度計とは数値が異なることがあります。
- 運転開始時、設定室温に達し運転を停止したとき、霜取り運転中は、実際の室温と大きく異なることがあります。
- エアコンの据付場所・周囲状況・ステンレスフィルターの汚れなどにより、実際の室温と大きく異なることがあります。

※エアコン停止中は温度表示されません。

☆ブレーカーを“ON”した直後の約2秒間は、右記の表示をして電源が入ったことをお知らせします。

各部の名称と働き④

◇リモコン

◆運転内容、タイマー予約内容などを室内機に送信します。

※リモコンのリセットスイッチを押した直後は、液晶表示が全点灯します。通常すべて表示されることはありません。**12**・**13**ページには、本ルームエアコンに有る機能のみ表示してあります。
汎用の液晶を使用しているため、本ルームエアコンには無い機能も表示されます。

運転を開始することのできるボタン

送信部

運転／停止ボタン
押すと運転、もう一度押すと停止します。

暖房ボタン
暖房運転を開始します。
（☞ **20**ページ）

カラッと除湿ボタン
カラッと除湿運転を開始します。
（☞ **22**ページ）

冷房ボタン
冷房運転を開始します。
（☞ **21**ページ）

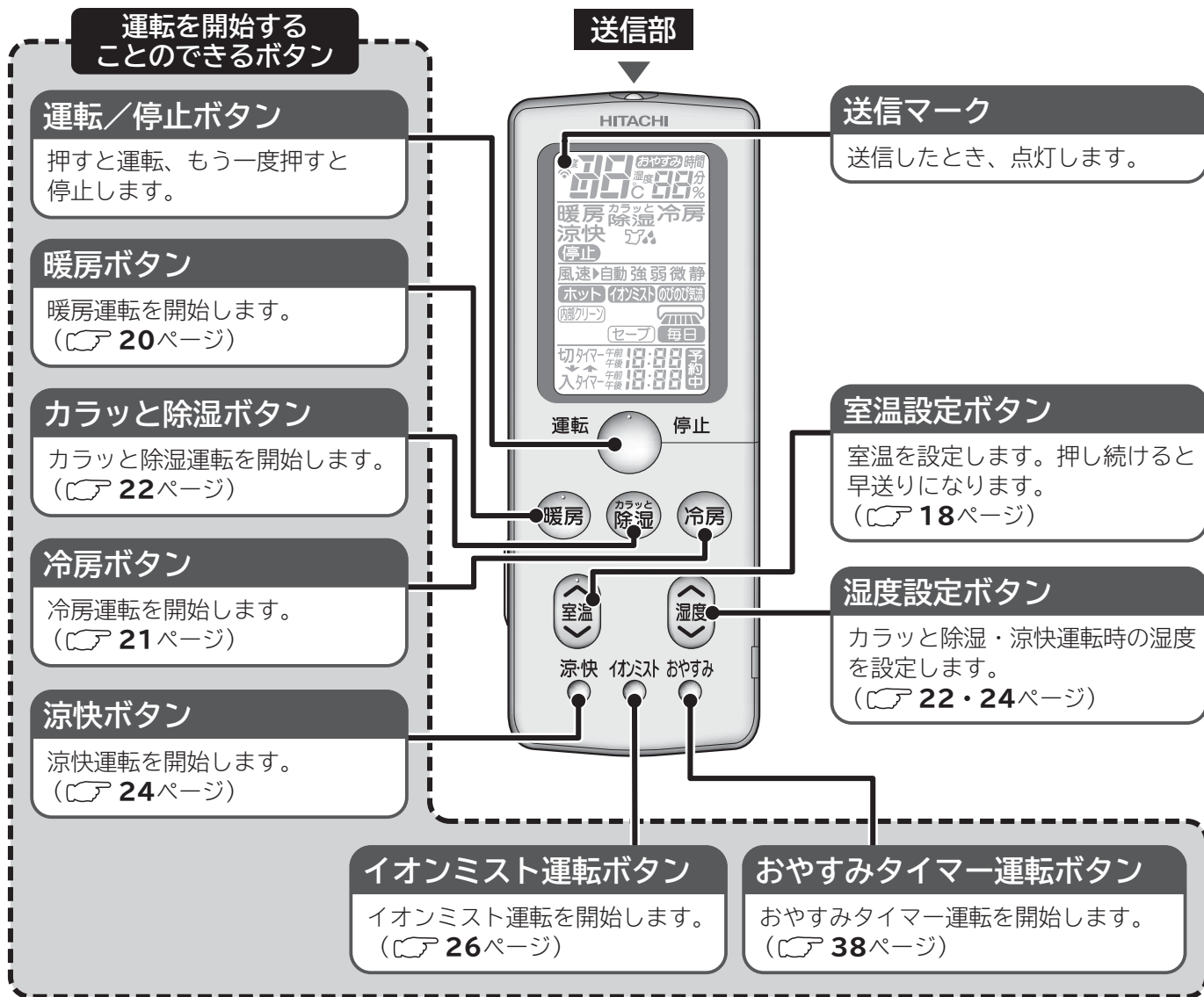
涼快ボタン
涼快運転を開始します。
（☞ **24**ページ）

送信マーク
送信したとき、点灯します。

室温設定ボタン
室温を設定します。押し続けると早送りになります。
（☞ **18**ページ）

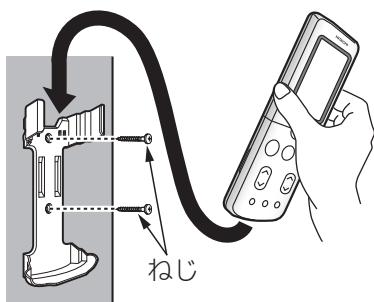
湿度設定ボタン
カラッと除湿・涼快運転時の湿度を設定します。
（☞ **22**・**24**ページ）

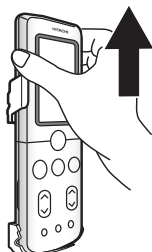
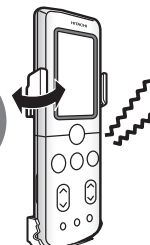
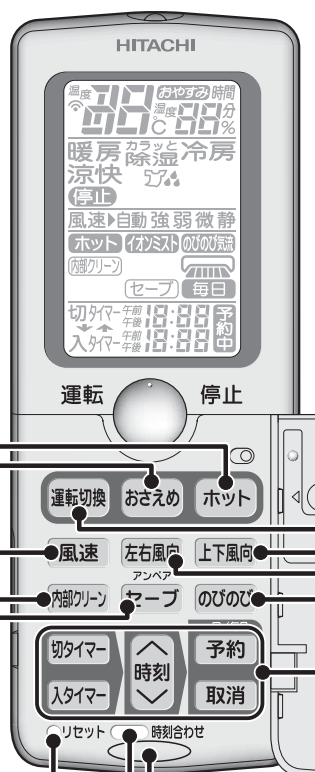
イオンミスト運転ボタン
イオンミスト運転を開始します。
（☞ **26**ページ）

おやすみタイマー運転ボタン
おやすみタイマー運転を開始します。
（☞ **38**ページ）

◆リモコンは、付属の取付具で柱や壁などに取り付けることができます。

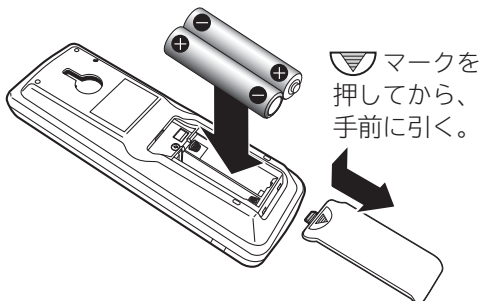
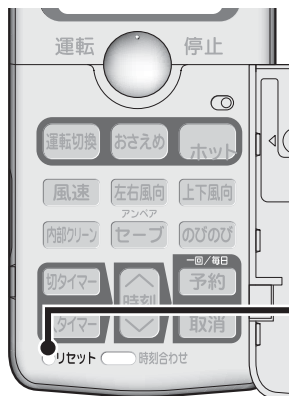
※リモコンの操作は、付属の取付具から外して行い、送信してください。

リモコンの取り付け

- 上から差し込む。

リモコンの取り外し

- 外すときはリモコンの上部を持って上に引き抜く。
- リモコンを左右にねじって取り外さないでください。裏ぶたが外れる場合があります。

（扉を開いた状態）
HITACHI
運転
停止
運転切換
おさえめ
ホット
風速
左右風向
上下風向
内部クリーン
セーブ
のびのび
切タイマー
入タイマー
時刻
予約
取消
リセット
時刻合わせ
ホットモード運転ボタン
ホットモード運転を設定できます。（☞28ページ）
おさえめ運転ボタン
エアコン運転中に押すとおさえめ運転の“ON/OFF”の切換えができます。（☞29ページ）
風速切換ボタン
風速を選びます。（☞18ページ）
運転を開始することのできるボタン
内部クリーンボタン
内部クリーン運転を開始します。（☞27ページ）
セーブボタン
セーブ運転を開始します。（☞15ページ）
運転切換ボタン
運転の種類を選びます。（☞18ページ）
上下風向ボタン
上下風向板をスイングさせたり、お好みの角度に変えます。（☞31ページ）
左右風向ボタン
左右風向板をスイングさせたり、お好みの角度に変えます。（☞33ページ）
のびのび気流ボタン
のびのび気流をセットできます。（☞32ページ）
タイマー合わせ部
リモコン形名
エアコン形名とリモコン形名の組み合わせは下記のとおりです。
エアコン形名
リモコン形名
RAF-D36C形
RAF-D40C2形
RAF-D50C2形
RAR-4P1
現在時刻ボタン
現在時刻のセットと確認に使います。（☞14ページ）
リセットスイッチ
電池交換した後や、動作が正常でないときに押してください。（☞14ページ）

リモコンの準備をしてください

1 乾電池を入れる

- 単4形アルカリ乾電池を2本お使いください。

2 扉をあけて、先の細いものでリセットスイッチを押す

※扉を開いた状態です。

- 現在時刻表示部に18：88が点灯し、“午前”“午後”が点滅表示をはじめます。

午前 午後 18:88

3 現在時刻を合わせる（午後1：30に合わせる場合の例）

※扉を開いた状態です。

1 時刻 ボタンを押して、現在時刻を合わせる

- 押し続けると早送りになります。

午後 1:30

2 時刻合わせ ボタンを押して、現在時刻を設定する

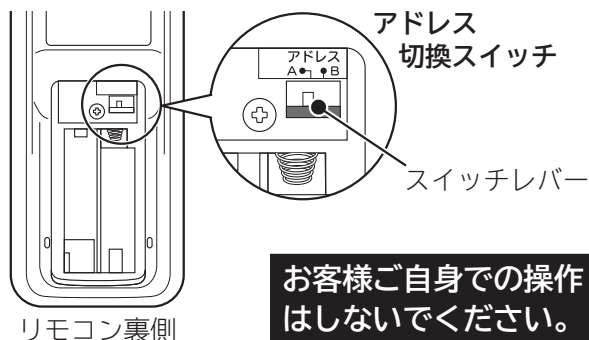
- “午前”または“午後”の点滅表示が点灯表示に変わり、10秒後自動的に消えます。

午後 1:30

◇現在時刻の確認のしかた

- 時刻合わせ ボタンを押して、現在時刻の確認を行い、必要に応じて 1 で修正を行ってから 2 を行ってください。

アドレス切換スイッチについて

- アドレス切換スイッチは、2台の室内機を同じ部屋に据え付けたときなど、リモコンの混信を防ぎたいときに使用しますので、通常は使用しません。
（工場出荷時は「A」側に設定されています。）
なお、設定のしかたについてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
（設定方法が適切でない場合に、リモコンによる操作ができなくなることがあります。）

お客様ご自身での操作はしないでください。

4 アンペア（標準・セーブ）切換えがセットできます

● ご家庭のブレーカーが切れてしまうようなときに、「セーブ」にセットしますと、ブレーカー切れが起こりにくくなります。（お買い上げ時は「標準」にセットされています。）

※扉を開いた状態です。

リモコンを本体に向けて

アンペア セーブ ボタンを押す

● “ピッ”という受信音がして、リモコンに セーブ が点灯します。

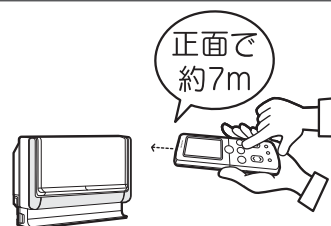
解除 リモコンを本体に向けて アンペア セーブ ボタンを押す

● “ピッ”という受信音がして、解除になり セーブ が消灯します。

◇「セーブ」セット時のご注意

● 暖房運転の能力が低下しますので、立ち上がり時に多少時間がかかります。また、外気温が低いときは“設定室温”に達しないことがあります。（ セーブ セット時は15（A）制限運転となります。）
● 暖房運転時の能力が低下しますので、セーブ運転は、ブレーカー切れを一時的に回避するときに使用してください。

リモコンを操作するとき

● 操作は、室内機の受信部に向けて。
受信できる距離は、正面で約7m。ただし、室内に電子点灯形の照明器具がある場合は、受信距離が短くなることがあり、場合によっては信号を受け付けないことがあります。
● リモコンはていねいに扱ってください。
落としたり、水がかかったりすると送信できなくなる場合があります。
電源を入れた直後の10秒間程度は、リモコン操作をしても信号を受け付けません。
● 表示部をチルトアップすると受信しやすくなります。（☞10ページ）

乾電池について

● アルカリ乾電池をご使用のとき、乾電池の寿命は、普通の使いかたで約1年です。
（ただし、乾電池の「使用推奨期限」に近いものは、乾電池の交換が早くなる場合があります。）
付属の乾電池はモニター用です。
● 液晶表示がうすくなったら乾電池を取り換えてください。

⚠ 注意

乾電池以外の異物を入れないように注意してください
発熱等の故障の原因になります。

● 乾電池を交換した後や、動作が正常でない場合は、必ずリセットスイッチを押してください。
● 乾電池を誤って使うと、液漏れや破裂の危険があります。乾電池の注意文をよく読み、次の点に特に注意してご使用ください。
(1)乾電池の＋（プラス）、－（マイナス）の向きは器具の表示どおりに正しく入れてください。
(2)新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
(3)長期間（1ヵ月以上）使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。
万一液漏れしたときは、よく拭き取ってから、新しい乾電池を入れてください。

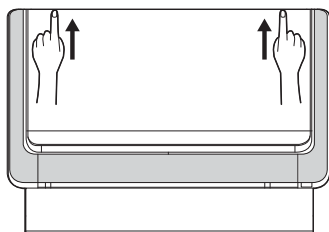
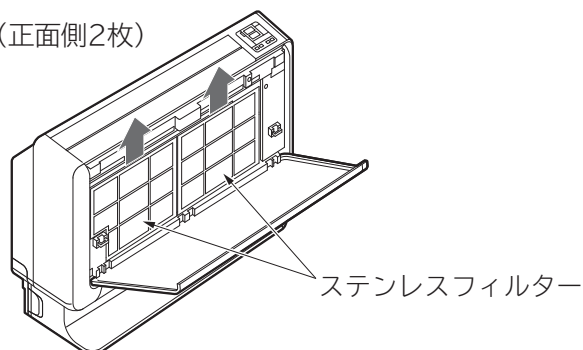
運転のしくみとワンポイントアドバイス

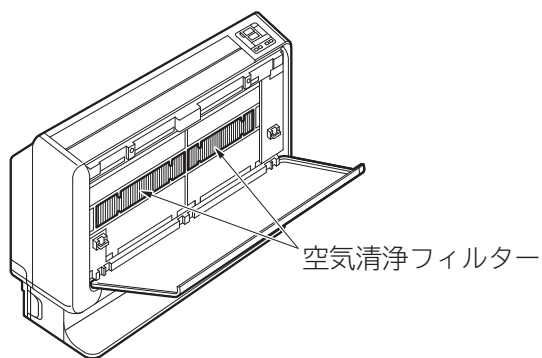
● 一部屋にエアコンを2台設置したときなどリモコンの混信を防ぎたいときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
● 現在時刻を設定しないとタイマー予約運転（☞34ページ）やおやすみタイマー運転（☞38ページ）はできません。
● タイマー予約運転・おやすみタイマー運転の設定中は、時刻の変更はできません。

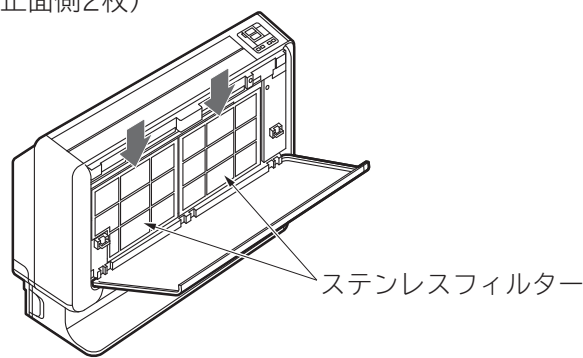
空気清浄フィルターの取付けをしてください

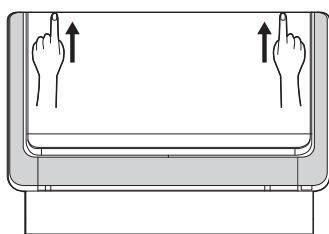
◇運転を停止して、ブレーカーを“OFF”にする。

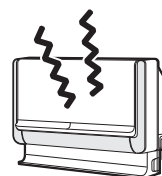
1 フロントパネルを開ける

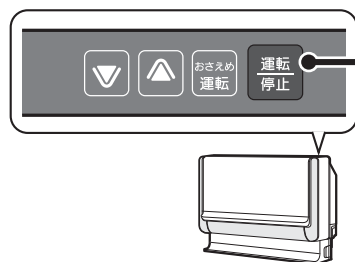
- 運転を停止してから、フロントパネルの上部両端を押して開けます。
  その後フロントパネルを手前に引きます。

2 ステンレスフィルターを取り外す

（正面側2枚）

3 空気清浄フィルターをフィルター枠に収納します

4 ステンレスフィルターを取り付ける

（正面側2枚）

5 フロントパネルを閉じる

- フロントパネル上面両端を「カチッ」と音がするまで押し付け、フロントパネルを平らに閉じます。

⚠注意

- フロントパネルが、ガタついているとパネルが外れ、落下するおそれがあります。
- フロントパネルを下側におろしたとき、無理に力を入れないでください。
  フロントパネルが本体から外れたり、故障の原因になります。
- ステンレスフィルターを外したまま運転しないでください。
  機械にホコリが入り、故障の原因になります。
- ステンレスフィルターの取り外し・取り付けの際、熱交換器のフィンで手などを切らないように十分ご注意ください。

室内機ボタンで運転

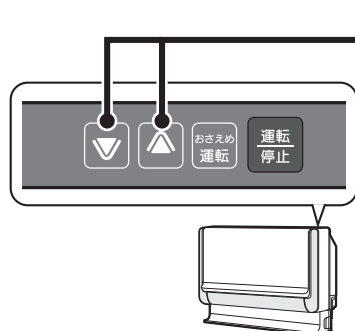
1 運転開始

運転停止 ボタンを押す

- “ピッ”と操作音がして、運転を開始します。
- 室内機表示部の運転ランプ・設定室温・現在室温が点灯および表示されます。

〈運転のしくみと知っておいていただきたいこと〉
- 運転内容は前回の運転となります。
（但し、ブレーカーを“ON”した後、初めて運転の場合は暖房・カラッと除湿・冷房のいずれかの運転となります。）

- リモコンに運転内容は、反映されません。
（リモコンは停止状態〈右図〉になっています。）
- リモコンを操作されると、エアコンの運転内容とリモコン表示が一致していない場合があるため、エアコンが停止することがあります。
- タイマー運転は、最後のリモコン操作の状態を記憶しています。

■ リモコン停止状態表示例

- タイマー予約無のとき
- タイマー予約有のとき
2 室温のセット

▽ △ ボタンを押す

下がる 上がる

■ 設定室温範囲

暖房・冷房・涼快	16～32℃
カラッと除湿	10～32℃

- ▽ △ ボタンを押し、設定室温をお好みの温度に変更します。
20℃のときは“ピピッ”、30℃のときは“ピピピッ”、その他は“ピッ”と操作音がします。

※設定室温の上下限に達してから、更に押すと“ピピッピピッ”とした操作音で、それ以上設定室温が上下しないことをお知らせします。

☆運転の種類・風速および湿度（湿度はカラッと除湿・涼快のみ）のセットを変更したい場合
- 一度エアコンを停止させてから、リモコンで運転の種類選択・風速の切換え・湿度調節（☞**18**ページ）を行い、リモコンで運転してください。

停止

運転停止 ボタンを押す

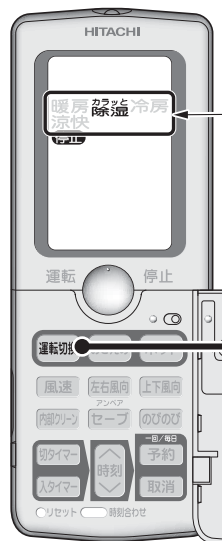
- “ピー”と操作音がして、運転を停止します。

■ 次の運転条件でご使用ください。

暖　房	カラッと除湿	涼　快	冷　房
●外気温　－25℃以上 21℃以下	●外気温　1℃以上 35℃以下（室温1℃以下では運転しません。）	●外気温 25℃以上 35℃以下	●外気温 22℃以上 43℃以下

- 上の表の温度範囲以外でご使用されますと、機械保護などのため運転しないことがあります。
- 冬季に冷房運転を行わないでください。

リモコンで選んで運転（暖房・カラッと除湿・冷房・涼快）

1 運転の種類を選ぶ

※扉を開いた状態です。

- 暖房・カラッと除湿・冷房・涼快のいずれかを選べます。
- 送風運転をするには、イオンミスト運転（☞**26**ページ）をしてください。
- 運転中に 運転切換 ボタンを押した場合、“ピッ”と受信音がします。
- 運転中に 運転切換 ボタンを押した直後は、保護回路が働いて約3分間運転しません。（☞**19**ページ）

2 風速のセット

※扉を開いた状態です。

- 自動・強・弱・微・静のいずれかを選べます。風速の表示は運転を開始しないと、約10秒後に消えます。
- 運転中に 風速 ボタンを押した場合、自動のときは“ピピッ”、その他は“ピッ”と受信音がします。

3 室温のセット

■ リモコン設定室温範囲

暖房・冷房・涼快	16～32℃
カラッと除湿	10～32℃

- 室温の表示は運転を開始しないと、約10秒後に消えます。
- 運転中に 室温 ボタンを押した場合、20℃のときは“ピピッ”30℃のときは“ピピピッ”、その他は“ピッ”と受信音がします。

4 湿度のセット（カラッと除湿・涼快のみ）

■ 設定湿度範囲

40～70%

- **5%刻みで設定できます。**（加湿する機能はありません。）
- 湿度の表示は運転を開始しないと、約10秒後に消えます。

5 運転開始

（「運転」ランプ点灯）

運転のしくみとワンポイントアドバイス

- 運転中に 運転切換 ボタンを押すと、保護回路が働いて**約3分間**運転しません。
- 暖房運転時、室内機の「運転」ランプが点灯したり、暗くなったりして、**しばらく風が出ない**ことがあります。（☞**10**ページ）
- 暖房の風速“強”運転時、風が冷たく感じる場合や部屋が暖かくなった後に静かな運転を行いたい場合は、風速**“自動”**でお使いになることをおすすめします。
- 風速“強風”設定時に設定室温と室温の差が大きいことが続いた場合、室温を設定室温に近づけることを優先するため、風速を設定よりも上げることがあります。この場合、冷房・暖房能力が最大となる運転を行います。
- 風速“微”“静”運転時は、能力が少し低下します。
- カラッと除湿・涼快運転時には、**室外ファンが低速運転または停止**することがあります。
- 暖房運転の風速“微”“静”では、運転条件によって、**風速が変化**することがあります。

◆次の運転条件でご使用ください。

暖　　房	カラッと除湿	涼　快	冷　房
●**外気温－25℃～21℃** （－25℃未満のときや、24℃を超えるときは、機械保護のため、運転しないことがあります。）	●**外気温　1℃～35℃** （室温1℃以下では運転しません。）	●**外気温** 25℃～35℃	●**外気温** 22℃～43℃

- 上の表の運転範囲以外でご使用されますと、機械保護などのため運転しないことがあります。
- 外気温が低いときは、停止中でも機械保護のため室外機に通電されます。
  外気温度－10℃以下でご使用のときは、ブレーカーを“OFF”しないでください。
- 故障の原因となるため、**冬季に冷房運転を行わない**でください。

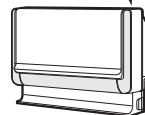
暖房運転

暖房 ボタンを押すと、“暖房”運転を行います。

暖房 ボタンを押す

- お好みに応じて、室温の調節、風速の切換えができます。
  設定できる温度の範囲は16℃〜32℃です。
  （☞ **18**ページ）

（「運転」ランプ点灯）

停止

運転 ○ 停止 ボタンを押す

- “ピー”という受信音がして、暖房運転を停止します。

風速 自動 について

暖　房　時	●吹き出す風の温度に応じて自動的に風速が変わります。 ●設定室温に到達すると、ごく弱い風になります。

運転のしくみとワンポイントアドバイス

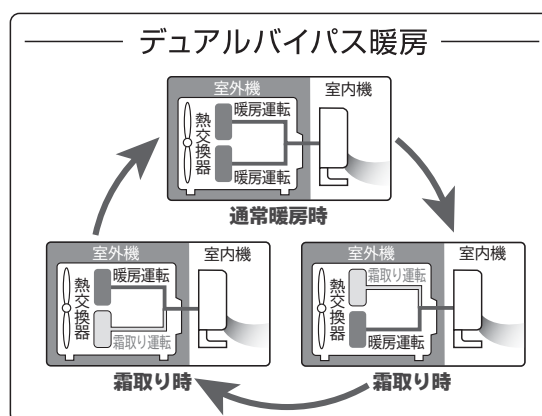
- 暖房運転中は、室外熱交換器に付いた霜を暖房運転を行いながら霜取り（約3分：デュアルバイパス暖房霜取り運転）します。デュアルバイパス暖房霜取り運転の間隔は設定室温・設定風速・外気温度・湿度条件などによって異なりますが短くて約20分です。
- デュアルバイパス暖房霜取り運転中は室外機の運転音が若干高く変化します。
  これは暖房運転を行いながら霜取りするため、運転パワーを高めるためです。
- デュアルバイパス暖房霜取り運転中は、室内風速が弱くなり、風の温度が下がります。
- 暖房運転を連続でご使用の場合、25時間経過すると、一旦暖房運転を停止して、霜取り運転（☞ **10**ページ）を行う場合があります。
- 外気温度が低い場合や、湿度が高く室外熱交換器に霜が付きやすいときは、暖房運転を停止して霜取り運転（☞ **10**ページ）を行います。

◇デュアルバイパス暖房

室外機の熱交換器を2つに分割。通常時は両方の熱交換器で暖房運転。霜取りが必要な時でも、片方の熱交換器では暖房運転を継続します。

◇凍結防止ヒーター搭載

霜取り運転で流れ出た水が、きびしい寒さにより室外機底部で凍結するのを防ぎます。

運転のしかた

運転のしくみとワンポイントアドバイス

◆暖房の能力について

ご注意

ストーブなど、高温になるものは、室内機の近くでは使わないでください。

- このルームエアコンは、外気の熱を吸収して室内に運び込むヒートポンプ暖房を行いますので、外気温が下がるにつれて暖房能力は低下します。この場合はPAM及びインバーターの働きで、圧縮機の回転数を上げて能力の低下を防ぎますが、それでも暖まりの悪いときは、他の暖房器具との併用をおすすめします。
- エアコン暖房は、部屋全体を暖める暖房ですので、暖かく感じるまで少し時間がかかります。タイマーで早めに運転しておくことをおすすめします。(☞**34**ページ)
- 外気温が下がり湿度が高いときは、室外機の熱交換器に霜が付き、そのままでは暖房効果が下がりますので、自動的に霜取り運転を行います。そのため、いったん暖房運転は止まり、もとの暖房運転に戻るまで通常約5～10分程度（最長時間は20分）の時間がかかります。(☞**10**ページ)
  通常はデュアルバイパス暖房運転を行い、暖房運転を継続しながら霜取り運転を行います。
  (☞**20**ページ)

※配管が長いと、暖房の能力が若干低下します。

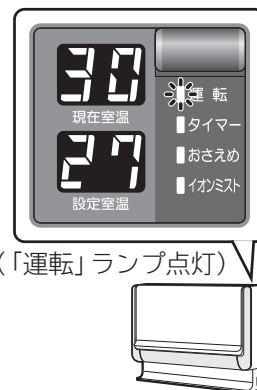
冷房運転

冷房 ボタンを押すと、“冷房”運転を行います。

冷房 ボタンを押す

- お好みに応じて、室温の調節・風速の切換え（☞**18**ページ）ができます。
  設定できる温度の範囲は、16℃～32℃です。

（「運転」ランプ点灯）

停止

運転 停止 ボタンを押す

- “ピー”という受信音がして、冷房運転を停止します。

- 冷房時に部屋の上部の温度が高いと感じたときは、のびのび ボタンを押して使用することをお勧めします。（約3時間後に自動的に解除されます。）
  （のびのび気流の使いかたは☞**32**ページ）

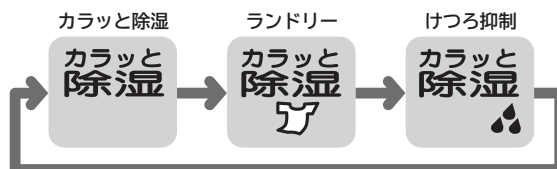
風速 自動 について

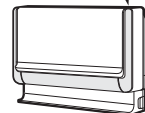
冷　房　時	●運転開始時に、室温と設定室温の差が大きいときは“強風”運転をします。 ●設定室温に到達すると、弱い風になります。

カラッと除湿運転

カラッと除湿 ボタンを押すと、3種類の"カラッと除湿"運転を行います。

カラッと除湿 ボタンを押す

- カラッと除湿 ボタンを押すたびに、下のように種類が切換わります。

（"ランドリー"運転時は、「イオンミスト」ランプも点灯します。）

（「運転」ランプ点灯）

- "カラッと除湿"はお好みに応じて、室温の微調節（☞**18**ページ）と湿度の調節、風速の切換え（☞**18**ページ）ができます。設定室温は、室温設定ボタンを1回押すごとに1℃変化します。（設定できる温度の範囲は、10℃～32℃です。）
  設定湿度は、設定ボタンを1回押すごとに5%変化します。
  （設定できる湿度の範囲は、40%～70%です。）
- "ランドリー"と"けつろ抑制"はお好みに応じて、風速の切換え（☞**18**ページ）ができます。（室温の微調節と、湿度の調節はできません。）

停止 運転/停止 ボタンを押す

- "ピー"という受信音がして、カラッと除湿運転を停止します。

- 停止後のリモコンに表示される運転の種類は、カラッと除湿 ボタンで運転する前の表示に戻る場合があります。

風速 自動 について

カラッと除湿時	●設定室温を室温より低く設定したときは"弱風"で、高く設定したときは"微風"になります。

運転のしくみとワンポイントアドバイス

運転の種類	このようなときに	運　転　の　し　く　み
カラッと 除湿 カラッと除湿	ジメジメするときに	●温度、湿度をお好みに設定することができます。 設定湿度前後まで下がれば、運転を停止します。上がれば運転を再開します。
ランドリー	洗濯物の乾燥を早めたいとき	●外気温・室温・湿度を検知して暖房と強力除湿の最適な組み合わせを自動的に選んで運転します。 ●洗濯物の乾燥を優先して運転を行います。室温・湿度が一時的に上がりますので、お部屋に人がいないときにお使いください。 ●3時間のタイマーになっています。
けつろ 抑　制	冬、窓にできる結露を抑制したいとき	●結露を抑えるため、湿度を下げる運転を最優先しますので 室温は下がります。室温1℃以下になると運転を停止します。 ●2時間のタイマーになっています。

※在室人数・部屋の条件・室外の温度によっては、設定室温を変えても設定室温に到達しないことや設定湿度にならないことがあります。

- すでに結露した露を除去する効果はありません。（けつろ抑制運転）
- 洗濯物の量や材質によっては、乾きが遅くなる場合があります。（ランドリー運転）
- ランドリー運転時は、室内機の「イオンミスト」ランプが点灯しイオンミスト運転を同時に行います。
- 外気温が低いときに、けつろ抑制運転を行うと、室温が下がりますので注意してください。
- カラッと除湿（ランドリー・けつろ抑制運転）運転中は、時刻で設定する「切タイマー」「入タイマー」予約はできません。なお、ランドリー・けつろ抑制運転は おやすみ ボタンを使って30分、1、2、3…、9時間タイマーに変えることができます。

温度をコントロールするために、自動的に冷房または暖房運転に切換えることがあります。
また、この切換えの際、お部屋の湿度が10%程度変動する場合があります。

☆表中の約1℃・約3℃は、室温と設定室温の差を表しています。

涼快運転

- 涼快 ボタンを押すと、"涼快"運転を行います。
- 室温の微調節をし、湿度を下げる運転を行います。(加湿する機能はありません)

涼快 ボタンを押す

- お好みに応じて室温の微調節(☞18ページ)と湿度の調節、風速の切換え(☞18ページ)ができます。
- 設定室温は、室温 ボタンを1回押すごとに1℃変化します。
  (設定できる温度の範囲は16℃~32℃です。)
- 設定湿度は、設定ボタンを1回押すごとに5%変化します。
  (設定できる湿度の範囲は40%~70%です。)

(「運転」ランプ点灯)

停止 運転 停止 ボタンを押す

- "ピー"という受信音がして、涼快運転を停止します。

風速 自動 について

涼 快 時	●設定室温を室温より低く設定したときは"弱風"で、高く設定したときは"微風"になります。

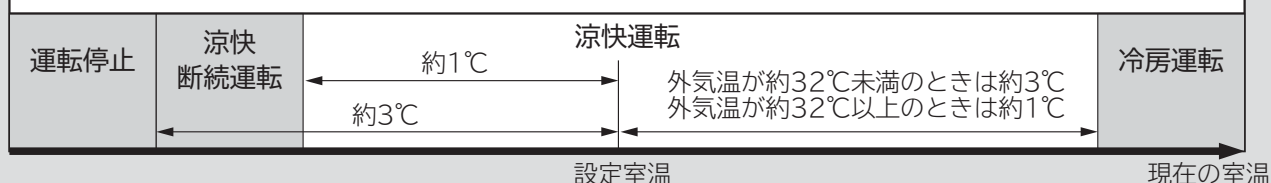
運転のしくみとワンポイントアドバイス

◆冷房・カラッと除湿・涼快の能力について

- 室内に冷房能力以上の熱源(多くの人が居る・熱器具を使う)がありますと、設定室温に到達しないことがあります。
- 室内に除湿能力以上の熱源及び湿気の浸入、発生がありますと設定湿度に到達しないことがあります。

※配管が長いと、冷房の能力が若干低下します。
※在室人数・部屋の条件・室外の温度によっては、設定室温や設定湿度にならない場合があります。

- 室温が設定室温に達しても、設定湿度にならない場合は運転を続けることがあります。
- 室温が設定室温より低いときは、湿度が"設定湿度"より高くなっても運転しないことがあります。
- 室温を下げたいときや、湿度よりも室温を優先させたい場合は、冷房運転をおすすめします。

温度をコントロールするために、自動的に冷房運転に切換えることがあります。
また、室温が設定室温より低い場合は、室温の低下を抑え湿度をコントロールするために断続運転(運転と停止の繰り返し)を行います。

☆表中の約1℃・約3℃は、室温と設定室温の差を表しています。

運転の種類と使える機能一覧表

○は組み合わせて使える機能です。△は予約機能です。組み合わせて予約できますが、運転する条件になるまで、運転しません。×は組み合わせて使うことができない機能です。

運転の種類＼使える機能	室温 →P.18	湿度 →P.18	イオンミスト →P.26	おやすみ →P.38・39	おさえめ →P.29	ホット →P.28
暖房	○	×	○	○	○	○
カラッと除湿	○	○	○	○	○	×
カラッと除湿「ランドリー」	×	×	○	○（タイマー変更ボタンとして機能）	×	×
カラッと除湿「けつろ抑制」	×	×	○	○（タイマー変更ボタンとして機能）	×	×
冷房	○	×	○	○	○	×
涼・快	○	○	○	○	○	×
イオンミスト	×	×		○	○	×
おやすみ	○（イオンミスト除く）	△（カラッと除湿・涼快のみ）	○		×	△（暖房のみ）
内部クリーン	×	×	×	×	×	×

運転の種類＼使える機能	風速 →P.18	左右風向 →P.33	上下風向 →P.31	アンペアセーブ →P.15	のびのび →P.32	タイマー予約 切タイマー 入タイマー 一回／毎日 予約 取消 →P.34～37
暖房	○	○	○	○	○	○
カラッと除湿	○	○	○	○	○	○
カラッと除湿「ランドリー」	○	○	○	○	○	×（入タイマー+「ランドリー」は設定可能）
カラッと除湿「けつろ抑制」	○	○	○	○	○	×（入タイマー+「ランドリー」は設定可能）
冷房	○	○	○	○	○	○
涼・快	○	○	○	○	○	○
イオンミスト	○	○	○	○	○	×
おやすみ	×	○	○	○	○	×
内部クリーン	×	×	×	×	×	×

イオンミスト（送風／併用）運転

- イオンミスト運転は、お部屋の壁・カーテン等に付着したにおいを抑える効果があります。
- イオンミスト（送風）運転は、エアコンの送風運転とイオンミスト運転を併せた運転です。
- イオンミスト（併用）運転は、エアコンの通常運転とイオンミスト運転を併せた運転です。

イオンミスト ボタンを押す

- お好みに応じて風速の切換えができます。強・弱・微・静のいずれかを選べます。（☞18ページ）
- エアコン運転との併用運転時は、運転の種類に合わせて風速の切換えができます。
- イオンミスト運転のみの場合、時刻で設定する「切タイマー」／「入タイマー」予約はできません。

（「運転」・「イオンミスト」ランプ点灯）

停止

運転／停止 ボタンを押す

- “ピー”という受信音がして、イオンミスト運転を停止します。
- 次回運転時、イオンミスト運転の設定は解除されています。
- 併用運転時にはエアコン運転も停止しますので、イオンミスト運転のみを停止したい場合は、下の“エアコン運転中の取消し”を行ってください。

エアコン運転中の取消し

イオンミスト ボタンを押す

運転のしくみとワンポイントアドバイス

- イオンミストはお部屋の空気を利用して発生させるため、温度と湿度によってはイオンミストが発生しない場合があります。（イオンミストが発生するまで約30分から1時間程度かかる場合があります。）
- イオンミスト（送風／併用）運転中でも 左右風向 ボタンで、左右風向をお好みの角度にすることができます。（☞33ページ）
- 左右お好み位置を変更した場合は、次回の冷房運転などの左右お好み位置も変更されます。

内部クリーン運転

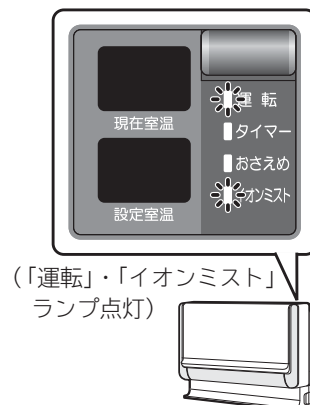
冷房シーズンの終わりのときに、内部クリーン運転を行うと、室内機熱交換器を乾燥させ、カビの発生を抑えます。(発生したカビを除去する働きや、殺菌効果はありません)

※扉を開いた状態です。

停止中に

内部クリーン ボタンを押す

(「運転」・「イオンミスト」ランプ点灯)

- “ピッ”という受信音がして、リモコンに 内部クリーン が点灯し、内部クリーン運転を開始します。
- 内部クリーン運転中は、室内機表示部の運転ランプとイオンミストランプが点灯します。
  (設定室温および現在室温表示部には何も表示されません。)
  但し、チャイルドロック中は設定室温表示部に c1 表示されます。
- 温風乾燥運転を約30分行い、自動的に停止します。
  リモコンの 内部クリーン は、運転開始後約30分後に消灯します。
- 室温が高い場合、送風運転になることがあります。
- タイマー予約中は内部クリーン運転を設定できません。

☆室内機の 運転/停止 ボタンで運転されているとき、内部クリーン ボタンを押すと“ピッ”という受信音がして内部クリーン運転に切換わります。

取消し

リモコンの 運転 停止 ボタン

または 内部クリーン ボタンを押す

または室内機の 運転/停止 ボタンを押す

- “ピッ”または“ピー”という受信音、操作音がして、内部クリーン運転を停止します。

ホットモード運転（暖房のみ）

- 暖房運転中または停止中（運転の種類：暖房）に ホット ボタンを押すとホットモード運転の設定ができます。
- ホットモード運転時は、通常暖房運転時に比べ、吹き出し空気温度が上昇します。

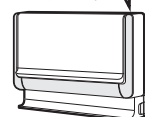
※扉を開いた状態です。

1 暖房運転中に

ホット ボタンを押す

- リモコンに ホット が点灯します。
- “ピッ”という受信音がして、ホットモード運転を開始します。
- 室内機設定室温表示部に H が点灯します。

（但し室内機表示部の減光設定中は除きます。☞42ページ）

（「運転」ランプ点灯）

取消し

もう一度 ホット ボタンを押す
または暖房運転からその他の運転モードへ切換える

- リモコンの ホット が消灯します。
- 運転中は“ピッ”という受信音がして設定前の運転に切換わります。

※停止中（暖房）の場合には、リモコンに ホット を点灯させた状態で

ボタンを押す ことでホットモード運転を開始します。

☆ホットモード運転中に のびのび ボタンを押すと、ホットモード運転の設定は取消され、のびのび気流運転となります。

運転のしくみとワンポイントアドバイス

運転の種類	このようなときに	運 転 の し く み
暖　房	もう少し暖かい温風で暖房したいというとき	強力暖房運転を行い、吹き出し空気温度を高めます。また、設定室温より約3℃高めに制御します。（設定室温表示は変わりません。）

- 暖房運転でホットモード運転を実施すると、運転後しばらくして一時的にホットモード運転を中断することがあります。これはデュアルバイパス暖房霜取り（☞20ページ）を実施しているためです。このときに風速が弱くなり、風の温度が下がりますが、デュアルバイパス暖房霜取り終了後にホットモード運転を再開します。
- 通常暖房運転時に比べ、吹き出し空気温度を上げるため、風量を下げており、部屋の端まで温風が行き渡らない場合があります。
- ホットモード運転を行うと、運転音が若干高くなる場合があります。
- ホットモードを解除し通常の暖房運転に切換えると、運転を一時的に中断することがあります。これは、暖め過ぎを防止するためです。

おさえめ運転

- 暖房・カラッと除湿・冷房・涼快・イオンミスト運転中に おさえめ ボタンまたは おさえめ運転 ボタンを押すとおさえめ運転を行います。
- おさえめ運転時は、弱運転となり運転音が小さくなります。

※扉を開いた状態です。

運転中にリモコンの おさえめ ボタンまたは室内機の おさえめ運転 ボタンを押す

- “ピッ”という受信音、操作音がして、おさえめ運転に切換わります。
- 室内機の「おさえめ」ランプが緑色に点灯します。
- リモコンで おさえめ ボタンを押すと、送信マークが出ます。
- **“ランドリー”と“けつろ抑制”運転中は、おさえめ運転できません。**
- おやすみタイマー予約中はリモコンの おさえめ ボタン、室内機の おさえめ運転 ボタンは受付けません。

取消し

リモコンの おさえめ ボタンまたは室内機の おさえめ運転 ボタンを押す

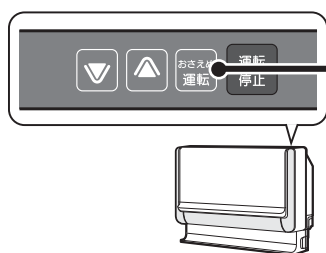
- “ピッ”という受信音、操作音がして、設定前の運転に戻ります。

- エアコンの運転を停止すると「おさえめ運転」は解除になります。

チャイルドロックをするには

お子様の室内機ボタンのいたずら操作を防止します。

■ 停止中の表示

■ 運転中の表示例

（「運転」ランプ点灯）

室内機の
[おさえめ運転] ボタンを3秒以上押す

- “ピー”という操作音がして、室内機ボタン操作を受け付けなくなります。(チャイルドロック)
- チャイルドロックが設定されると、室内機設定室温表示部に [c1] が点灯します。
- 内部クリーン運転中は、チャイルドロック設定できません。
  内部クリーン運転中にチャイルドロック設定したい場合は、
  内部クリーン運転前にチャイルドロック設定をしてください。

取消し

もう一度、室内機の
[おさえめ運転] ボタンを3秒以上押す

- “ピー”という操作音がして、室内機のチャイルドロックが解除されます。
- 室内機設定室温表示部の [c1] が停止中は消灯し、運転中は設定室温表示に戻ります。

☆チャイルドロック設定中でもリモコン操作は可能です。

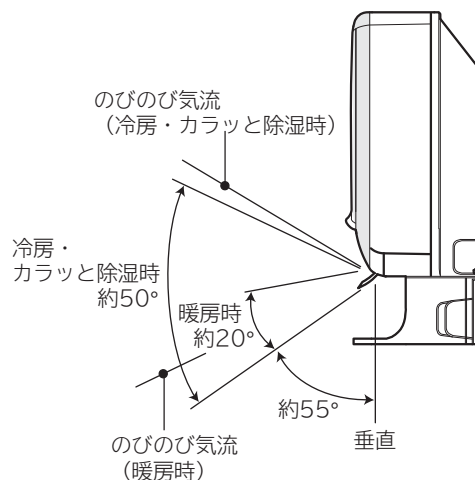
- エアコン運転中で、チャイルドロック設定中にリモコン操作をした場合、室内機設定室温表示部は、設定室温を約10秒間表示します。
  その後、また [c1] の表示に戻ります。

上下風向の調節

上下風向の調節は、必ずリモコンで操作してください。（手で動かすと、故障の原因になります）

◇自動セット

- 運転の種類に応じた風向に自動的にセットします。（上下風向板のみ、左右風向板は正面）通常、上下風向操作は特に必要ありません。
- 冷房・カラッと除湿・涼快運転時にお部屋の温度・湿度が高い状態が続くと、露つきによる滴下を防止するため、上下風向板の位置が変化することがあります。

※扉を開いた状態です。

◇上下風向スイング

上下風向 ボタンを押す

- 上下風向 ボタンを押すと、“ピッ”という受信音がして、上下風向板がスイングを繰り返します。
- 運転を停止するとスイングは止まり、吹き出し口を閉じます。
- 再び運転すると、運転の種類に応じた風向に自動セットされます。
- スイングを設定した場合でも、お部屋の温度・湿度によっては、上下風向板のスイングが停止することがあります。（☞33ページ）

（風向板が動き出すまで10秒ぐらい時間がかかることがあります。これは風向板の位置を正しくセットする確認動作のためです。）

※扉を開いた状態です。

◇上下お好み風向

上下風向 ボタンを押す

- “ピッ”という受信音がして、上下風向板がスイングを繰り返します。（上下風向スイング）

お好みの位置でもう一度

上下風向 ボタンを押す

- 押した位置でスイングが止まります。
- 上下風向板が自動的にセットされた位置と異なる場合、“設定室温”に到達しないことがあります。
- 運転を停止すると吹き出し口を閉じますが、再び運転するとお好みの位置のままで運転が再開されます。
- 運転を切換えると、運転の種類に応じた風向に自動セットされます。

⚠注意

冷房運転時に長時間スイングにしたまま運転しないでください

長時間このような運転をしますと上下風向板に露が付き、ときには露が落ちて家財などを濡らす原因になります。

のびのび気流

暖房・カラッと除湿・冷房・涼快・イオンミスト運転中に のびのび ボタンを押すと、運転の種類に応じ自動的に風向をセット及び風速を上げて、気流を遠くまで届くようにします。

※扉を開いた状態です。

のびのび ボタンを押す

- “ピッ”という受信音がして、のびのび気流 設定位置に上下風向板がセットされ、風速が上がります。
- 風速が **自動** に設定されている場合でも、“ピッ”という受信音がして、のびのび気流 設定位置に上下風向板がセットされ、風速が上がります。

取消し

もう一度 のびのび ボタンを押す
または 運転切換 ボタンで運転を切換える

知っておいていただきたいこと

- 上下風向スイング設定中に のびのび気流 設定すると、スイングを中断して のびのび気流 設定風向位置に上下風向板がセットされ、風速が上がります。
  のびのび気流 設定を取消しすると、再び上下風向スイングに戻ります。
- のびのび気流 設定中に 上下風向 ボタンを押すと のびのび気流 風速のまま上下風向スイング設定に切換わります。
  もう一度 上下風向 ボタンを押すと、上下風向板は のびのび気流 お好み位置としてセットされます。
  （運転停止後、上下風向板お好み位置は記憶されません）
- 上下風向板をお好み位置で、ご使用中に のびのび気流 を設定するとお好み位置から のびのび気流 風向設定位置に上下風向板がセットされ風速が上がります。
- 上下風向板の位置が自動的に変わりますので、直接風が体に当たる場合があります。
- のびのび気流 設定中に 運転切換 ボタンを押すと、のびのび気流 は取消しされ、上下風向板が “運転の種類に応じた位置” に自動的にセットされます。
- 冷房・カラッと除湿・涼快運転時は、約3時間後にリモコンの のびのび気流 表示が消え、上下風向板が “運転の種類に応じた位置” または “お好みの位置” に戻ります。
- 「入タイマー」予約がされている時は、のびのび気流 設定はできません。
- エアコンを のびのび気流 設定運転中に「入タイマー」予約設定されますと のびのび気流 は取消しされ、上下風向板が “運転の種類に応じた位置” または “お好みの位置” に戻ります。
- のびのび気流 運転中に ホット ボタンを押すと、のびのび気流 運転の設定は取消されホットモード運転となります。

左右風向の調節

必ずリモコンで操作してください。(手で動かすと、故障の原因になります。)

※扉を開いた状態です。

◇左右風向スイング

左右風向 ボタンを押す

- スイング時は、リモコンの画面が下図のように切換わり、左右風向板がスイングを繰り返します。
  (リモコンの左右風向板表示と、実際の左右風向板の動作は同期しません。)

- 一度エアコンを停止し、再び運転すると、スイングする前の位置にセットされます。
- スイングを設定した場合でも、お部屋の温度・湿度によっては、左右風向板のスイングが停止することがあります。(☞下表)

◇左右お好み位置

- 左右風向をお好みの位置にしたいときは、左右風向スイング中にリモコンの左右風向板表示がお好みの位置になったら、もう一度左右風向ボタンを押して止めてください。

左右風向スイング中にお好みの位置で、もう一度

左右風向 ボタンを押す

- 左右風向板がお好みの位置で固定されます。
- 左右お好み位置を設定した場合でも、冷房・カラッと除湿・涼快運転時にお部屋の温度・湿度の高い状態が続くと、露つきによる滴下を防止するため、左右風向板の角度が変化することがあります。
  ただし、温度・湿度が下がればお好み位置に戻ります。

⚠注意

冷房・カラッと除湿・涼快運転時、左右風向スイング運転をしたままで、長時間運転しないでください
長時間このような運転をしますと、左右風向板に露がつき、ときには露が落ちて家財などを濡らす原因になります。

次のとき、上下スイング・左右スイングを設定した場合でもスイングが停止します。

暖房運転時	カラッと除湿運転時	涼快運転時
● 予熱運転中 ● 霜取り運転中 ● 室温が設定室温になったとき	● 湿度が設定湿度になったとき ● 室温が1℃以下のとき	● 室温が設定室温より低く運転停止しているとき

タイマー予約運転

タイマーは「切タイマー」⇆「入タイマー」・「切タイマー」・「入タイマー」の3種類の使いかたができます。予約は、その内の1種類のみです。
運転の種類・室温・湿度・風速などの設定を、あらかじめ行ってからタイマー設定してください。

◆タイマー予約のしかた

「切タイマー」を予約する場合 ………………………… 1 ➡ 2 ➡ 3

- 「切タイマー」は、セットした時刻に運転を停止させます。

「入タイマー」を予約する場合 ………………………… 4 ➡ 5 ➡ 6

- 「入タイマー」は、セットした時刻に運転を開始します。

◆「切タイマー」⇆「入タイマー」予約のしかた

〈例：午後10：30に運転を停止させ、午前7：00に運転を開始するようセットする場合〉

- 現在時刻（タイマー予約をした時刻）を基準にして、セット時刻が早い方から先に作動します。（必ず現在時刻を確認してください。）（☞**14**ページ）

1 切タイマー ボタンを押す

- 「切タイマー」が点滅します。
- 午前0:00または前回の予約時刻が表示されます。

※扉を開いた状態です。

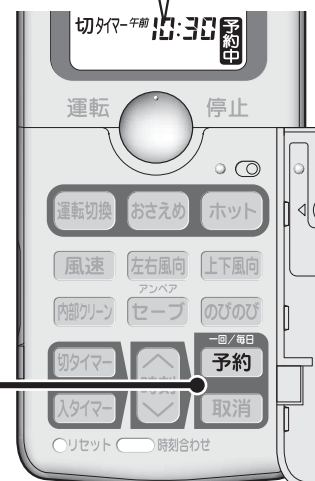
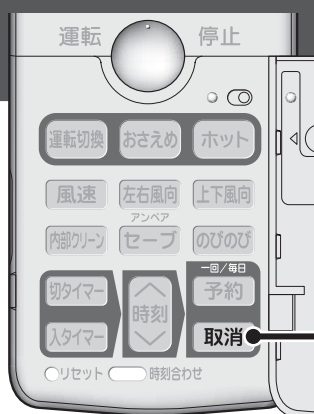
2 時刻 ボタンを押して時刻をセット

- 時刻は10分単位です。
- 押し続けると、早送りになります。

◀ 時刻が進む
◀ 時刻が戻る

※扉を開いた状態です。

3 予約 ボタンを押す

- “ピッ”という受信音がして、「切タイマー」が予約されます。
- 「切タイマー」の点滅が点灯に変わり“予約中”が表示されます。
- 室内機表示部の「タイマー」ランプが点灯します。
- 「切タイマー」時刻を変更したい場合は、もう一度 1 にもどって操作してください。

※扉を開いた状態です。

※扉を開いた状態です。

◆タイマー予約の取り消しかた

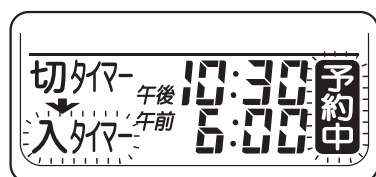
取消 ボタンを押す

（"ピピッ"という受信音がして、全てのタイマー予約が取り消されます。）

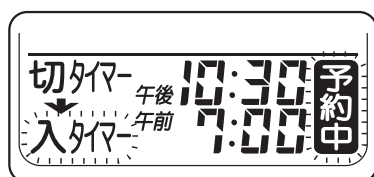
「タイマー予約運転」のワンポイントアドバイス

- イオンミスト ボタンで運転をしたとき、および カラッと除湿 の「ランドリー運転」「けつろ抑制運転」時は、時刻で設定する「切タイマー」／「入タイマー」予約はできません。
- 一度セットした時刻はリモコンが記憶していますので、前回と同じ時刻を予約したいときは、予約 ボタンを押すだけで、同じ時刻が予約されます。

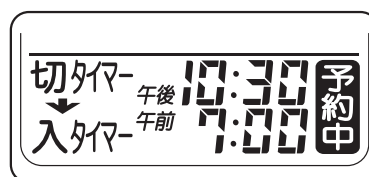
4 入タイマー ボタンを押す

- 「入タイマー」が点滅します。
- 午前6:00または前回の予約時刻が表示されます。
- ⬇⬆ 表示は「切タイマー」、「入タイマー」の動作順序を表わします。

※扉を開いた状態です。

5 時刻 ボタンを押して時刻をセット

- 時刻は10分単位です。
- 押し続けると、早送りになります。

※扉を開いた状態です。

6 予約 ボタンを押す

- "ピッ"という受信音がして、「入タイマー」が予約されます。
- 「入タイマー」の点滅が点灯に変わり、"予約中"が表示されます。
- 室内機表示部の「タイマー」ランプが点灯します。
- 「入タイマー」時刻を変更したい場合は、もう一度 4 にもどって操作してください。

※扉を開いた状態です。

更に便利なタイマーの使いかた

カラッと除湿運転（けつろ抑制）と暖房運転の「入タイマー」を同時にセットできます。
これによりカラッと除湿運転（けつろ抑制）で翌朝の結露を抑え、暖房の「入タイマー」時刻に運転を開始します。

◇「入タイマー」と カラッと除湿 ボタンの組み合わせ

● 就寝前に、カラッと除湿運転の（けつろ抑制）と、翌朝の「入タイマー」をセットして、暖房運転を行うなどの組み合わせタイマーが設定できます。

★下の表示は、暖房運転の「入タイマー」を午後6:00に予約後、午後11:38にカラッと除湿運転（けつろ抑制）を行った場合です。〔カラッと除湿運転（けつろ抑制）は、自動的に2時間で停止します。〕

1 「入タイマー」を予約する

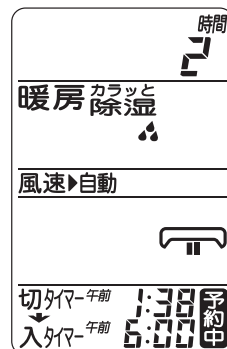
「入タイマー」予約したときの運転は、「入タイマー」の時刻に運転を開始します。タイマー予約をしたときには、設定状態を十分確認してください。

（☞ **34・35**ページ）

★右の表示は、午後6:00に暖房運転の「入タイマー」を予約した状態です。

2 カラッと除湿 ボタンを2回押す

（ マークを表示させます）

2時間後の午前1：38にカラッと除湿（けつろ抑制）運転を停止し、午前6：00に暖房運転を開始します。

★ カラッと除湿 ボタンを3回押すとカラッと除湿運転が開始し、暖房予約が取消されます。
誤って3回押してしまった場合は 暖房 ボタン→ 運転 停止 ボタンの順に押した後、 を再度行ってください。

いろいろな機能の使いかた

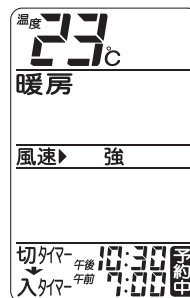
タイマー予約後、一回/毎日 予約 ボタンを押すと毎日予約ができます。

◇毎日タイマー予約の使いかた

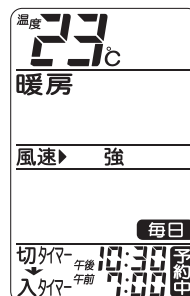
● 「切タイマー」・「入タイマー」・「切タイマー」⇄「入タイマー」をセット後、選択できます。

★下の表示は、暖房運転の「切タイマー」⇄「入タイマー」予約後、毎日タイマー予約を行った場合です。

1 「切タイマー」⇄「入タイマー」を予約する

● 現在時刻（タイマー予約をした時刻）を基準にして、セット時刻が早い方から先に作動します。（☞34ページ）

※扉を開いた状態です。

2 一回/毎日 予約 ボタンを押す

● "ピッ"という受信音がして、リモコンに 毎日 が点灯します。

取消し

もう一度 一回/毎日 予約 ボタンを押す

● "ピッ"という受信音がして、リモコンの 毎日 が消灯し、1回予約に戻ります。

運転のしくみとワンポイントアドバイス

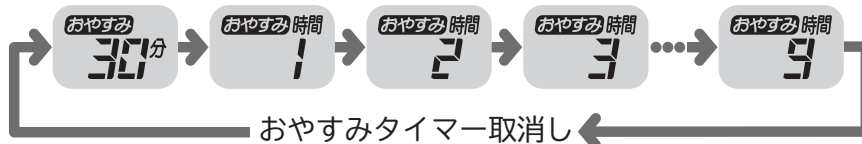
● タイマー予約、おやすみタイマー予約したときにリモコンの送信をエアコンが受信しないとタイマー時間がきても、エアコンは動作/停止しません。
室内機の受信音と室内機の「タイマー」ランプで、タイマー予約したことを確認してください。
（☞10ページ）

おやすみタイマー運転

“風速”を就寝時に適した運転にし、指定した時間になると運転を停止するおやすみ専用の「切タイマー」運転です。

★下の表示は、午後11:38に2時間コースをセットした場合で、午前1:38に運転を停止します。

おやすみボタンを押す

- おやすみボタンを押すたびに下図のように変わります。
（押し続けると早送りになります）

- リモコンの表示部に、おやすみタイマーの予約時間と、停止の時刻が表示されます。
- おやすみ運転中の風速は、静に固定されます。

取消し

おやすみボタンまたは 取消 ボタンを押す

- 「切タイマー」と「入タイマー」を組み合わせで設定されているとき、取消 ボタンで取消しすると、全ての予約が取消されますのでご注意ください。
- このようなときは、おやすみボタンを押して、リモコンの おやすみ を消す取消しを行ってください。

◇おやすみタイマー運転と「入タイマー」の組み合わせ

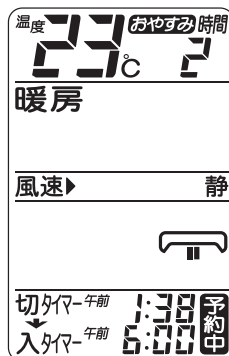
- おやすみタイマー運転で、運転を自動停止させた後、「入タイマー」で翌朝の運転を行うなどの組み合わせタイマーの設定ができます。「入タイマー」を予約したあとに、おやすみ ボタンを押してください。

★下の表示は、「入タイマー」〔午前6:00〕を予約し、午後11:38におやすみ2時間コースをセットした場合です。

1 「入タイマー」を予約する

（☞ **34・35**ページ）

2 おやすみ ボタンを押す

- 2時間後の午前1：38に運転を停止し、午前6：00に運転を開始します。
- おやすみタイマー運転の時間は「入タイマー」時刻前までの範囲で設定してください。

運転のしくみとワンポイントアドバイス

- 「切タイマー」「入タイマー」予約中に おやすみ ボタンを押すと、おやすみタイマー運転が優先されます。但し、「入タイマー」設定時間を超えるおやすみタイマー時間設定はできません。
- おやすみタイマー予約中は、「切タイマー」および「入タイマー」予約はできません。
- 停止中におやすみタイマー予約すると運転を開始します。

お手入れ

⚠警告

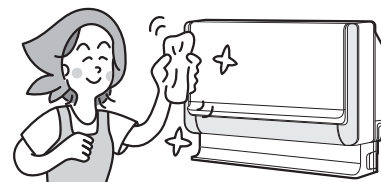
- **室内機内部の洗浄はお客様自身では行わない**
  エアコンの洗浄には専門技術が必要なため、お買い上げの販売店に相談する
  故障や感電・火災の原因となります。

⚠注意

- **お手入れの前には、運転を停止して、ブレーカーを“OFF”にする**
- **本体に水をかけない** 感電の原因になります。
- **不安定な台に乗って掃除をしない**
  転倒などによるケガの原因となります。
- **清掃時には手袋を着用する**
  手袋を着用しないと内部の部品に触れて、ケガをする原因となります。
- **フロントパネル・上下風向板は水洗いしない**
  故障の原因となります。
- **フロントパネル・上下風向板は柔らかい布で拭く**
  かたい布で拭くと傷つくことがあります。

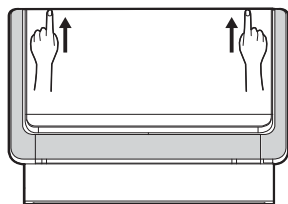
フロントパネル・上下風向板のお手入れ

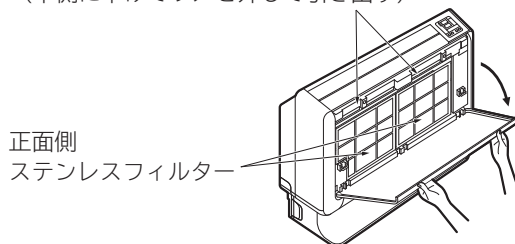
◆やわらかい布でから拭きする

- フロントパネルの着脱は必ず両手で行ってください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

◆ステンレスフィルターのお手入れ

- 電気代の節約のためにも、2週間に1度のステンレスフィルターのお掃除をお願いします。

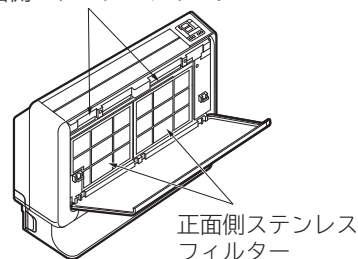
1 フロントパネルを開ける

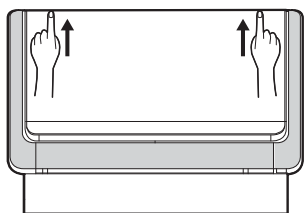
- 運転を停止してから、フロントパネル上部両端を押して開けその後フロントパネルを手前に引きます。

2 フロントパネルを手前に引く

- ステンレスフィルターを取り外す。
  （正面側2枚と上面側2枚の合計4枚）

3 掃除機でホコリを吸い取る

- このステンレスフィルターの汚れがひどく、掃除機で取れないときは、中性洗剤で洗ったあと、よく水洗いして、陰干ししてください。

4 ステンレスフィルターを取り付ける

（正面側2枚と上面側2枚の合計4枚）

5 フロントパネルを閉じる

- フロントパネル上面両端に「カチッ」と音がするまで押し付け、フロントパネルを平らに閉じます。

⚠注意

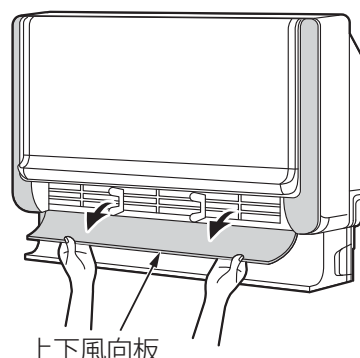
- 40℃以上のお湯を使わないでください。
  ステンレスフィルターが縮んだりすることがあります。
- お手入れするときは、市販のスポンジ（やわらかい面）で行ってください。たわしやブラシでこすると表面の金属膜がはがれてしまいます。
- ステンレスフィルターを外したまま運転しないでください。機械にホコリが入り、故障の原因になります。

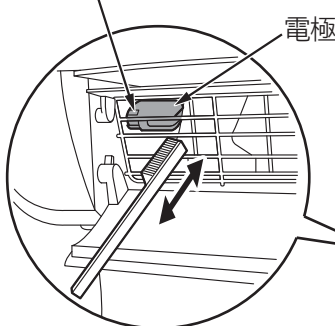
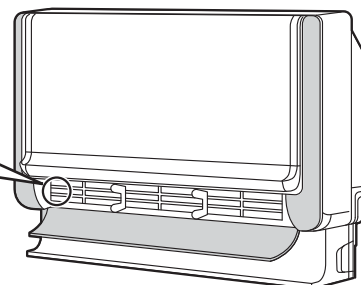
電極・イオンミスト発生部のお手入れのしかた

1 運転を停止して、ブレーカーを“OFF”にする

2 上下風向板を両手でゆっくり開ける

⚠注意

- **必ず両手で右図のように「ゆっくり」開けてください**
  急激に操作すると、故障の原因になります。
- **下の突き当て以上に無理に動かさないでください**
  故障の原因になります。

3 歯ブラシで電極・イオンミスト発生部の汚れをとる

- 歯ブラシは、必ず乾いたものをご使用ください。
- 軽くホコリを落とす程度にしてください。
- 指入り防止ガードのすき間より歯ブラシを入れてください。

4 ブレーカーを“ON”にする

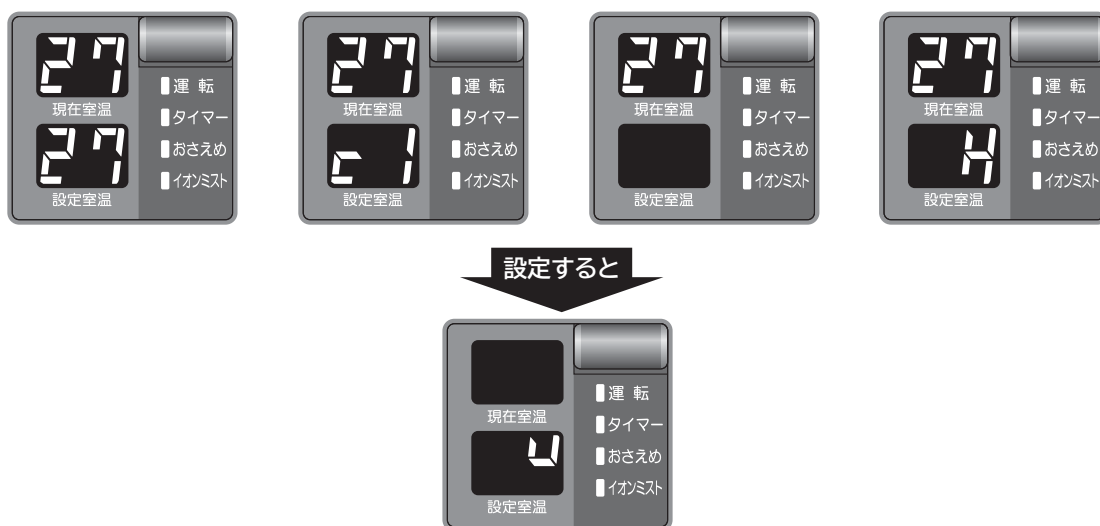
⚠注意

- **運転中は電極・イオンミスト発生部にふれない**
  高電圧が発生していますので、感電の原因になります。
- **電極・イオンミスト発生部や本体には水をかけない**
  感電や故障の原因になります。

上手な使いかた

運転中室内機表示部が明るく感じるときは（室内機表示部の減光設定）

①エアコン運転中に室内機に向かってリモコンの 時刻 ボタンの上部と のびのび ボタンを同時に5秒以上押し続ける。
②“ピッ”と受信音がして室内機表示部が消灯します。
ただし、設定室温表示部に u と表示して消灯していることをお知らせします。

設定すると

- 消灯設定中に室内機ボタン操作またはリモコン操作を行った場合、約10秒間通常運転表示へ戻ります。
- 設定を解除する場合は①の操作を行うか運転を停止してください。

☆消灯設定中の室内機ボタンおよびリモコン操作は可能です。
その後また、 u 表示に戻ります。
チャイルドロック中に室内機ボタン操作を行った場合は、設定室温表示部に c 1 を表示してチャイルドロック中であることをお知らせし、約10秒後 u 表示に戻ります。

「適切な室温」が、からだにも家計にもおすすめです。

- 冷やし過ぎたり、暖め過ぎないようにしてください。健康上好ましくないうえ、電気代もムダになります。
- 窓のカーテンやブラインドを閉めれば、熱の出入りを抑えて、電気をより有効に使えます。

ときどき、お部屋の空気を入れ換えてください。

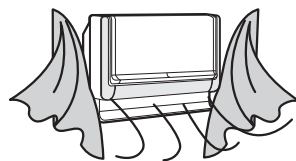
⚠注意

燃焼器具と同時に使用するときは、必ず換気を行う。

おやすみになるとき、タイマーの有効利用を。

（タイマーの使いかたは ☞**34～39**ページ）

吸い込み口・吹き出し口はふさがないで！

- 室内・室外機の吹き出し口や吸い込み口をカーテンや他の障害物でふさがないでください。
  性能が低下するばかりか、故障の原因になります。

次のものは使わないで！（室外機も同様）

- ベンジン・シンナー・みがき粉などは、塗装面やプラスチック部品を傷めます。
- 40℃以上のお湯も使わないでください。フィルターが縮んだり、プラスチック部品が変形することがあります。

冷房時の上手な使いかた

- 冷房時に部屋の上部の温度が高いと感じたときは、のびのびボタンを押して使用することをおすすめします。
  （のびのび気流の使いかたは☞**32**ページ）

「カラッと除湿運転」「涼快運転」「ランドリー」のおすすめご利用方法

- **夏期（外気温　約27℃～約35℃）では「涼快運転」をおすすめします。**
  このとき、風速は強風でお使いいただくと部屋全体の湿度をむらなく下げることに有効です。
  ※ただし、外気温が35℃を超えるような場合、設定室温まで下がらないことも想定されますので、このときは「冷房運転」をお使いください。

- **梅雨時（外気温　約18℃～約26℃）では「カラッと除湿運転」をおすすめします。**
  ※ただし、外気温が20℃前後および20℃以下では湿気がとれにくい場合があります。
  このときは「けつろ抑制」をお試しください。湿気を除去することを最優先したモードです。
  〔室温が（外気温につれて）下がることがあります。〕

- **洗濯物を乾燥させたいときは「ランドリー」をおすすめします。**
  ※ただし、洗濯物が乾かない、あるいはお部屋がかえって湿っぽいという場合は「けつろ抑制」をお試しください。

故障かな？と思ったら

サービスを依頼する前に …次のことをお調べください。

受信しない（リモコンの表示がうすい・表示がでない）	●リモコンが電池切れになっていませんか？	14・15・49ページ
	●乾電池の㊉㊀が逆になっていませんか？	
運転しない	●ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか？	——
	●停電ではありませんか？〔停電後は運転が停止したままとなります。〕	——
よく冷えない よく暖まらない	●ステンレスフィルターにホコリが詰まっていませんか？	40ページ
	●“設定室温”のセットは適正になっていますか？	17・18・19ページ
	●上下風向板は、運転内容に合った正しい位置になっていますか？	31ページ
	●室内・室外機の吹き出し口や吸い込み口を障害物などでふさいでいませんか？	——
	●風速が“微”“静”になっていませんか？	18ページ

（「タイマー」ランプ点滅）

●現在室温が 05 、設定室温が 01 で「タイマー」ランプが4回点滅となったときは、室内機のステンレスフィルターのお掃除をお願いします。
また、室内・室外機の吹き出し口や吸い込み口を障害物などでふさいでいる場合は、取り除くようお願いします。
上記処置の後に、一度ブレーカーを“OFF”し、再びブレーカーを“ON”にして、再運転をしてください。それでも同じ現象になったり、具合いの悪いときは、ブレーカーを“OFF”にして、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

これは故障ではありません

においがする	エアコン自体ににおいを発生させる物質は使用しておりません。 エアコンが室内の空気に含まれているタバコ・化粧品・食品などいろいろなにおいを吸い込み、これが吹き出すためです。
暖房運転で「運転」ランプが点灯したり、暗くなったりを繰り返している	予熱・霜取り運転を行っているためです。
暖房運転中、風速が下がりしばらくすると元に戻る	デュアルバイパス暖房除霜を行っているためです。（☞20ページ）
「シュルシュル」「シャー」「ボコボコ」「プシュ」という音	冷媒がパイプの中を流れる音と、流れの方向を切り換えるときの弁の音です。
「キシキシ」という音	温度変化でエアコン自体が膨張・収縮する音です。
「バサバサ」という音	運転開始時など、室内ファンの回転数が変わるためです。
「カタカタ」という音	電源投入時、電動弁が作動するときの音です。
「ポコポコ」という音	換気扇等により排水ホース内の空気が吸引され、露受皿の除湿水を吹き上げるときの音です。対応部品（別売）を用意してありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
運転音が変わる	室温の変化に応じて、運転パワーが変わるためです。
霧が出る	室内の空気がエアコンの冷気で急速に冷やされて霧になるためです。
室外機から湯気が立つ	霜取り運転で解けた水が蒸発するためです。
排水ホースから黒い水が出る	室内機の熱交換器に含まれる脱臭成分（チタン・カーボン）が、一時的に流れ出るためです。排水量約4～5ℓ程度できれいになります。また、その後の性能は変わりません。
“停止”にしても「運転」ランプが点滅し、室外機が動いている	オートフレッシュ除霜（“暖房”を停止するとマイコンが室外機の霜付き状態をチェックし、必要に応じ自動霜取り運転する機能）が働いているためです。
設定室温にならない	在室人数や室内、室外の条件によっては能力不足となり、リモコンの設定室温に到達しない場合があります。
設定室温表示部に C-1 が点灯している	チャイルドロックの設定になっているためです。（☞30ページ）

イオンミスト発生器、電極の故障について

（「イオンミスト」ランプ点滅）

- 室内機表示部の「イオンミスト」ランプが点滅を繰り返すときは、イオンミスト発生部・電極が汚れているかどうかを確認し、汚れている場合は、お手入れをしてください。（☞41ページ）
  お手入れ後も「イオンミスト」ランプが点滅を繰り返すときは、イオンミスト発生器の故障です。
  この場合イオンミスト運転はできませんが、エアコンの他の機能は影響なく運転することができます。
- イオンミスト発生器・電極が故障の場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
  アフターサービスについては☞46ページをご覧ください。

こんなときは、すぐ販売店へ

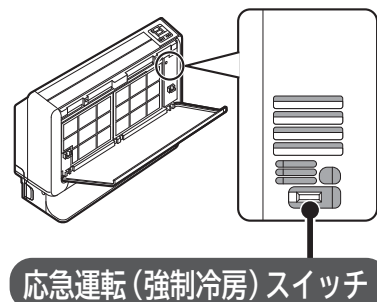
◆44・45ページにしたがって調べていただき、それでも具合の悪いときや下のような現象が出たときは、ブレーカーを“OFF”にして、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。
アフターサービスについては☞46ページをご覧ください。

- ブレーカーやヒューズがたびたび切れる。
- スイッチの動作が不確実。
- 誤ってエアコン内部に異物や水を入れてしまった。
- コードの過熱やコードの被覆に破れがある。
- 室内機表示部の「タイマー」ランプが点滅している。

（「タイマー」ランプ点滅）

応急運転

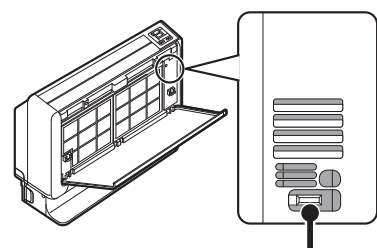
◆電池切れなどでリモコンが使えないとき、応急運転スイッチを押すと応急運転を行います。

1. **応急運転を行うときは、一度ブレーカーを“OFF”にしてください**
2. **再びブレーカーを“ON”にしてください**
3. **応急運転スイッチを押すと、暖房・カラッと除湿・冷房のいずれかの運転を行います**

応急運転（強制冷房）スイッチ

- **5秒以上、応急運転スイッチを押すと、強制冷房運転を行います。これは販売店で行う作業ですので、お客様は操作しないでください。**

強制冷房運転 （販売店で行う操作です）

◆室内機の強制冷房スイッチをONさせると強制冷房になります。故障診断や室外機に冷媒を回収するときに使用してください。

- 強制冷房スイッチでの作業が終了したら、もう一度強制冷房スイッチを押すかリモコンで強制冷房運転を停止してください。
- 強制冷房運転中は、タイマーランプの2回点滅を繰り返します。

応急運転（強制冷房）スイッチ

5秒以上押し続けると強制冷房運転を開始します。停止する時は、もう一度強制冷房スイッチを押すかリモコンで運転を停止してください。

⚠ 注意

サービスバルブのスピンドルを閉めた状態で5分以上運転しない。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から1年間です。

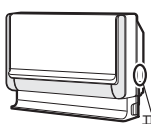
（ただし、冷凍サイクル部分は5年間です。）

なお、保証期間中でも有料になることがありますので保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

エアコンの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後10年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるときは

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様ご相談窓口」（☞**51**ページ）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは（出張修理）

44・45ページにしたがって調べていただき、なお異常があるときは、必ずブレーカーを"OFF"にしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

◆ご連絡していただきたい内容

アフターサービスをお申しつけいただくときは、下のことをお知らせください。

品　名	日立ルームエアコン
形　名	RAF-D36C形 RAF-D40C2形 RAF-D50C2形 形名表示 リモコン形名（フタ内側）RAR-4P1
お買い上げ日	年　月　日
故障状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	（　　）　－
訪問希望日	

※形名は保証書にも記載されています。

◆保証期間中は

修理に際しましては保証書（別添）をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

◆保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

◆修理料金のしくみ

修理料金 ＝ 技術料 ＋ 部品代 ＋ 出張料
などで構成されています。

技術料	診断・部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。 技術者の人件費・技術教育費・測定機器など設備費・一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。 別途、駐車料金をいただく場合があります。

再据付工事のお申し込みは

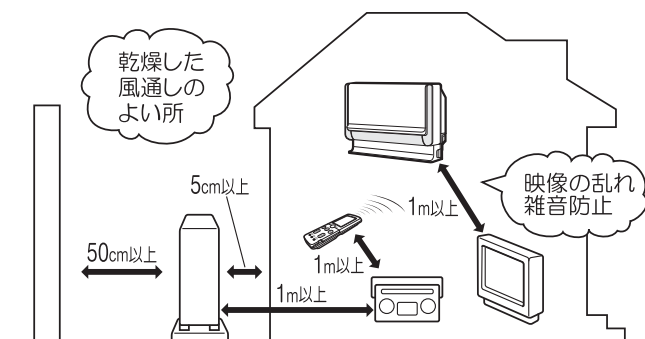
販売店に再据付工事（転居または別の部屋への接続）を依頼する場合は、据付工事の繁忙期に当たる夏期は工事が遅れぎみになりますので、できるだけ避けるようお願いいたします。また、据付工事は専門の技術が必要です。費用など詳しいことは、お買い上げの販売店にご相談ください。

据え付けについて

⚠警告

- **据付工事や電気工事は専門の技術が必要なため、販売店に依頼する**
  費用など詳しいことは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- **据付場所については、販売店とよく相談して決める**
- **アース（接地）を確実に行う**
  感電防止のほか静電気の障害や雑音を防ぐ効果もあります。

据付場所

- 室内機およびリモコンは、テレビやラジオ、ラジオのアンテナから1m以上離してください。
  1m以上あっても受信感度の弱い場合は、雑音が小さくなるまで離してください。

- 海浜地区で潮風が直接当たる場所や温泉地帯など周辺環境が特殊な場所でご使用になる場合は、お買い上げの販売店とよく相談してください。
- 調理場や機械工場など油の飛沫や油煙のたちこめる場所は、プラスチックが変質破損することがありますので、そのような場所への設置は避けてください。
- 工場など電圧変動の多い所、電磁波を発生する病院や作業場、粉末や塵埃の多い工場への設置は避けてください。

⚠注意

- **室内機排水ホースからの除湿水、室外機排水口（下面）からの凝縮水が出るため、水はけのよい場所を選ぶ**
- **可燃性ガスの漏れるおそれのある場所や、蒸気・油煙などの発生する所で使わない**
  引火や爆発・樹脂の劣化や破損のおそれがあります。
- **特殊な用途（例えば電子機器や精密機器の維持食品・毛皮・美術骨董品の保存、生物の培養・栽培飼育など）には使用しない**
  ルームエアコンは日本工業規格（JIS C9612）に基づき、一般の家庭でご使用いただくために製造されたものです。

電源について

- 電源は配電盤からエアコン専用に引いた回路をお使いください。

アースについて

⚠警告

- **万一漏電したときの感電防止のために、アース（接地）を確実に行う**
  アース工事は「電気設備に関する技術基準」に従って行ってください。アース（接地）を行うと感電防止のほかに製品に触れたときに感じる静電気の障害や、リモコン操作時にテレビ、ラジオに入る雑音を防ぐ効果もあります。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
- **次のような場所にアース線を接続しない**
  ①ガス管…引火や爆発のおそれがあります。
  ②避雷針・電話のアース線…落雷のとき大きな電流が流れるおそれがあります。
  ③水道管…塩ビ管ではアースの役目を果たしません。また、金属管では電蝕のおそれがあります。

⚠注意

- **漏電遮断器を設置する**
  据付場所によっては、D種接地工事のほかさらに漏電遮断器を設置することが法律で義務づけられています。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

騒音にもご配慮を

- 据え付けにあたっては、エアコンの重量に十分耐える場所で、騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
- 室外機の吹き出し口からの冷・温風や騒音が、隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
- 室外機の吹き出し口付近に物を置きますと、機能低下や騒音増大のもとになりますので、障害物は置かないでください。
- エアコンを使用中に異常な音にお気づきの場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

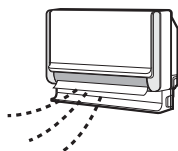
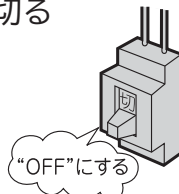
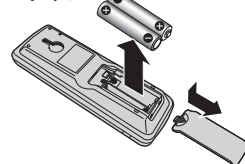
据え付けについて（つづき）

積雪について

- 室外機の吸い込み口や吹き出し口が雪でふさがれますと、暖まりにくくなったり故障の原因になったりします。積雪地では防雪の処置をお願いします。
詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

長期間（1ヵ月以上）使わないときは、次の手順でお手入れを。

1 室内機の内部を乾かす

- 内部クリーン運転をしてください。内部がぬれたままで長期間使わないとカビが発生しやすくなります。（☞27ページ）

2 ブレーカーを切る

3 リモコンの乾電池を取り出す

定期点検

定期点検

◆**半年～1年に一度、定期的に次の点検を行ってください。**
もし、ご不審な点がありましたら、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

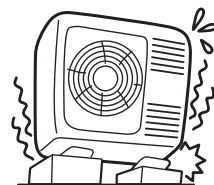
◇**アース線** …アースが確実に行われていますか？

⚠警告

アース（接地）が正しく接続されているかを確認する
アース線が外れたり、途中で切れたりすると、誤動作や感電などの原因になります。

◇**据付台** …据え付けが不安定になっていませんか？

⚠警告

据付台が極端に錆びている、あるいは室外機が傾いたりしていないかを確認する
室外機が倒れたり、落下したりして、けがなどの原因になります。

点検整備

◆**エアコンを数シーズン使いますと、内部が汚れ、性能が低下することがあります。**

⚠注意

通常のお手入れと別に点検整備を行う
室内機の内部にゴミやホコリがたまって、除湿水の排水経路を詰まらせ室内機から水たれを発生させることがあります。

- 通常のお手入れと別に、点検整備をおすすめします。

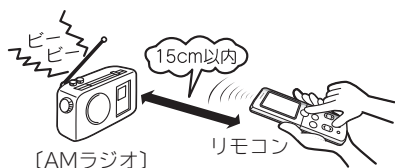
⚠注意

点検整備は、お買い上げの販売店に依頼する
点検整備には専門技術を必要とします。市販の洗浄剤などを使用しますと、樹脂部品の割れや排水経路の詰まりに至ることがあり、水たれや感電の原因にもなります。

- 点検整備は、お買い上げの販売店にご相談ください。

リモコンの点検

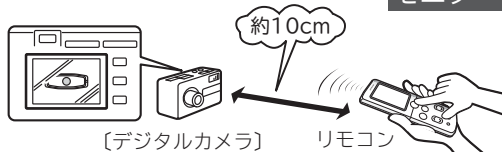
◆新しい乾電池と交換しても動作が正常でない場合は、リモコンの点検をしてください。

〔AMラジオでの点検〕

リモコンを操作したとき **雑音（ビービー音）** が入れば正常です。

〔カメラ付き携帯電話での点検〕

①リモコンの送信部が映るようにセットしてください。

②リモコンを操作したとき **モニターに送信部が発光** すれば正常です。

〔デジタルカメラでの点検〕

①リモコンの送信部が映るようにセットしてください。

②リモコンを操作したとき **モニターに送信部が発光** すれば正常です。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

本体への表示内容

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を室内機の銘板に行っています。

【製造年】（室内機の銘板の中に西暦4桁で表示してあります）

⚠注意

※【設計上の標準使用期間】　10年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

設計上の標準使用期間とは

※運転時間や温湿度など、右記の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。
また、一般的な故障を保証するものでもありません。

日立家電品の長期使用についてのご相談は
日立長期使用家電品相談窓口 ➔P.51 へ
ご相談ください。

■標準使用条件

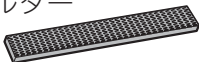
JIS C 9921-3「ルームエアコンディショナの設計上の標準使用期間を設定するための標準使用条件」による

環境条件	電源電圧	製品の定格電圧による
	周波数	50／60Hz
	冷房室内温度	27 ℃（乾球温度）
	冷房室内湿度	47%（湿球温度19 ℃）
	冷房室外温度	35 ℃（乾球温度）
	冷房室外湿度	40%（湿球温度24 ℃）
	暖房室内温度	20 ℃（乾球温度）
	暖房室内湿度	59%（湿球温度15 ℃）
	暖房室外温度	7 ℃（乾球温度）
	暖房室外湿度	87%（湿球温度6 ℃）
	設置条件	製品の据付説明書による標準設置
負荷条件	住宅	木造平屋，南向き和室，居間
	部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋（畳数）
想定時間	1年間の使用日数	東京モデル 冷房6月2日から9月21日までの112日間 暖房10月28日から4月14日までの169日間
	1日の使用時間	冷房　9時間／日 暖房　7時間／日
	1年間の使用時間	冷房：1,008時間／年 暖房：1,183時間／年

● 設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

仕　様

このルームエアコンは日本国内家庭用です。
電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

形名			室内機	室外機	室内機	室外機	室内機	室外機
			RAF-D36C	RAC-FD36C	RAF-D40C2	RAC-FD40C2	RAF-D50C2	RAC-FD50C2
電源（V）			単相100		単相200			
定格周波数（Hz）			50・60共用					
冷房	定格能力（kW）		3.6（0.6～3.7）		4.0（0.6～4.8）		5.0（0.6～5.2）	
冷房	定格消費電力（W）		1,000（155～1,260）		1,220（155～1,460）		2,300（155～2,400）	
冷房	運転電流（A）		10.1		6.4		12.0	
冷房	運転音（dB）		44	50	45	51	45	51
冷房	冷房面積の目安（m²）	鉄筋アパート南向き洋室	25		28		34	
冷房	冷房面積の目安（m²）	木造南向き和室	16		18		23	
暖房	定格能力（kW）		4.8（0.7～7.0）		5.3（0.7～9.4）		6.3（0.7～9.5）	
暖房	定格消費電力（W）		1,240（140～1,980）		1,460（140～3,265）		1,890（140～3,300）	
暖房	運転電流（A）		12.5		7.5		9.7	
暖房	運転音（dB）		45	51	46	52	46	52
暖房	暖房面積の目安（m²）	鉄筋アパート南向き洋室	22		24		29	
暖房	暖房面積の目安（m²）	木造南向き和室	17		19		23	
通年エネルギー消費効率（APF）			5.2		5.0		4.5	
区分名			I		I		J	
外形寸法（mm）（高さ×幅×奥行）			595×750×230	720×792×299	595×750×230	720×792×299	595×750×230	720×792×299
製品質量（kg）			16	49	16	49	16	49

- この仕様表は、JIS（日本工業規格）にもとづいた数値です。（　）内は能力・消費電力の可変幅を表示しています。
- 停止中の消費電力は、内受電時0.9W、外受電時4Wです。（ブレーカーOFF時は0W）
  但し、機械保護のため、外気温が0℃以下になる場合は約7W、そして外気温が－10℃以下になる場合には最大で約150Wの電力を消費する場合があります。

付属部品・別売部品について

主な付属部品

部品名	員数	備考
リモコン	1	形名：RAR-4P1
リモコン取付具	1	
リモコン取付具固定ねじ	2	
リモコン用乾電池（単4）	2	モニター用電池のため、乾電池の交換が早くなる場合があります。
空気清浄フィルター	1	

主な別売部品

部品名	形名	備考	希望小売価格
かんたんリモコン	SP-RC2	ふだんよく使うボタンだけを集めたシンプルで使いやすいリモコンです。	4,200円 税込
空気清浄フィルター	SP-VCF9	空気清浄フィルターの全面にホコリが付着したら交換のめやすです。ステンレスフィルターのお手入れのときにご確認ください。	1,575円 税込

- 価格は2012年7月現在の消費税率を基に総額表示を行っています。
- 商品によっては品切れ、仕様変更の場合がございますので、販売店にお問い合わせください。

このエアコンの特長と試験機関・試験方法などについて

特 長	■「ステンレス・クリーン　システム」について（室内機） ●ステンレスフィルターで除菌します。 ■その他の除菌・防カビ・脱臭の機能について（室内機） ●熱交換器はチタン触媒などで脱臭。さらに除菌・防カビ効果があります。	■イオンミストについて（室内機） ●浮遊カビを抑制します。 ●繊維に付着したニオイを低減します。 ●空気中のニオイを脱臭します。 ＊本商品は「医療機器」ではありません。
試験機関・試験方法など	【除菌】 ●効果の確認を行った試験機関名：一般財団法人 ボーケン品質評価機構 ●試験方法：JISZ2801定量試験（フィルム密着法） ●除菌の方法：ステンレスに含まれる金属イオン、チタン触媒 ●除菌を行っている対象部分の名称：ステンレスフィルター、熱交換器 ●試験結果：抗菌活性値99%抑制 ＊エアコンから出る空気を除菌しているわけではありません。 【防カビ】 ●効果の確認を行った試験機関名：一般財団法人 ボーケン品質評価機構 ●試験方法：防カビ試験方法（ハロー法） ●防カビの方法：チタン触媒 ●防カビを行っている対象部分の名称：熱交換器（室内機） ●試験結果：防カビ効果あり ＊カビの発生をすべて防げるものではありません。 【脱臭】 ●抑制の手段：チタン触媒 ●測定対象：アンモニアガス ●測定方法：1㎥ボックスにアンモニアガスを注入しエアコンを送風運転して濃度減衰を測定 ＊タバコの有害物質（一酸化炭素等）は除去できません。 ＊常時発生し続ける成分（建材臭・ペット臭等）はすべて除去できるわけではありません。	【浮遊カビの抑制】 ●効果の確認を行った試験機関名：（財）北里環境科学センター ●試験方法：25㎥の試験室内に浮遊カビを噴霧し、空気を循環させた後、エアコンを稼動させながら「イオンミスト」を運転させ、浮遊カビの数を経時的に測定 ●浮遊カビの抑制方法：イオンミスト ●試験結果：浮遊カビの抑制効果98.3%抑制（4時間後） ＊25㎥試験室内での試験。4時間後の結果であり、実使用空間での実証結果ではありません。 ＊カビの発生をすべて防げるものではありません。 【繊維に付着したニオイの低減】 ●抑制の手段：イオンミスト ●測定対象：タバコ（20本分）、焼肉（800ｇ分） ●測定方法：14畳の試験室（エアコンから3m離れた、高さ30cmの点）にニオイをつけて布片を吊るし「イオンミスト」を運転させ、臭い識別装置で臭気強度減衰を測定 ＊タバコの有害物質（一酸化炭素等）は除去できません。 ＊常時発生し続ける成分（建材臭・ペット臭等）はすべて除去できるわけではありません。 ＊焼肉のニオイをすべて除去できることを保証するわけではありません。 【空気中のニオイの脱臭】 ●抑制の手段：イオンミスト、チタン熱交換器 ●測定対象：タバコ（5本分） ●測定方法：1㎥ボックスによるJEM1467の脱臭性能試験 ＊タバコの有害物質（一酸化炭素等）は除去できません。 ＊常時発生し続ける成分（建材臭・ペット臭等）はすべて除去できるわけではありません。 ＊試験容器内の試験結果です。

日立家電品の長期使用についてのご相談は日立長期使用家電品相談窓口へ

日立長期使用家電品相談窓口

TEL 0120-145-458

（受付時間）　9：00～17：30（月～金）
土、日、祝日および年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

- お客様が弊社にお電話いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ
なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

エコーセンター

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコーセンターへ

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

(受付時間) 9：00～19：00(365日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

お客様相談センター

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ

TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00～17:30(月～土)、
9:00～17:00(日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

長年ご使用のエアコンの点検を！　●ルームエアコンの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後10年です。

愛情点検

このような症状はありませんか？

- 電源コードやプラグが異常に熱い。
- 電源プラグが変色している。
- こげ臭いにおいがする。
- ブレーカーが頻繁に落ちる。
- 架台や吊り下げ等の取付部品が腐食していたり、取付がゆるんでいる。
- 室内機から水漏れがする。
- 運転音が異常に高くなる。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて（またはブレーカーを“OFF”にして）必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

廃棄時にご注意願います

■2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのエアコンを廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

お客様メモ

■購入年月日・購入店名を記入しておいてください。
サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入年月日	年　　月　　日
購　入　店	
電　話　番　号	(　　　　)

RAF-D36C形
RAF-D40C2形
RAF-D50C2形

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12

RAF-D36C
RAF-D40C2 Ⓐ
RAF-D50C2

HITACHI
日立ルームエアコン据付説明書

●据付工事前にお読みになり正しく据え付けてください。
●お客さまに操作方法を取扱説明書でよく説明してください。
●この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。

HFC 採用 エアコン

室内機		室外機
RAF-D36C形	+	RAC-FD36C形
RAF-D40C2形	+	RAC-FD40C2形
RAF-D50C2形	+	RAC-FD50C2形

家庭用エアコンには最大でCO_2（温暖化ガス）3,600kgに相当するフロン類が封入されています。地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄等にあたってはフロンの回収が必要です。

据付情報
- HAシステムへ接続するには、機種専用別売のHA接続コードが必要です。
- 室内機に冷媒配管が付きましたので配管接続位置が変わります。
- 置台の前面カバーと下カバーを取り外して、パテによるシール作業が容易にできます。

据付工事に必要な工具（◉印はR410A専用工具）

● ⊕⊖ドライバー　●巻き尺　●ナイフ　●ペンチ　●パイプカッター
●六角棒スパナ（呼4）　●Pカッター　●φ65mmホールコアドリル
●真空ポンプ　●やすり　●スパナ（口径14、17、19、22mm）●トルクレンチ
◉ポンプアダプタ　◉フレアリングツール　◉ガス漏れ検知器
◉マニホールドバルブ　◉チャージホース（●ポリシン）●ニッパー

安全上のご注意　必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った据え付け方をしていたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告……この表示の欄は、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

注意……この表示の欄は、「傷害を負うおそれまたは物的損害を生じるおそれがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この据付説明書は、取扱説明書とともにお客様に保存頂くように依頼してください。

⚠警告

- **据付工事は、お買い上げの販売店または、専門業者に依頼する**
  ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

- **据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う**
  据え付けに不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。

- **据え付けは、重量に十分耐える所で確実に行う**
  強度不足や取り付けが不完全な場合は、室内外機の落下・転倒により、けがの原因になります。

- **電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する**
  電気回路容量不足や施工不備があると、感電・火災などの原因になります。

- **接続ケーブルの配線は、途中接続やより線の使用はせず所定のケーブルを使用して確実に接続する**
  端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する
  接続や固定が不安定な場合は、故障や発熱・火災などの原因になります。

- **設置工事部品は、必ず付属部品及び指定の部品（別売部品等）を使用する**
  当社指定部品を使用しないと、室内外機の落下・転倒・水漏れ・感電・火災および運転音や振動が大きくなる原因になります。

- **エアコンの設置や移設の場合、冷凍サイクル内に指定冷媒（R410A）以外の空気などを混入させない**
  空気などが混入すると、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂やけがなどの原因になります。

- **配管・フレアナットは、必ずR410A指定のものを使用する**
  破裂やけがなどの原因になります。

- **フレアナットはトルクレンチを使用し、指定のトルクで締め付けること**
  フレアナットを締め付け過ぎると、長期経過後フレアナットが割れて冷媒漏れの原因になります。

- **作業中に冷媒ガスが漏れた場合は、換気を行う**
  冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

- **設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認する**
  冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

⚠警告

- **アース（接地）は確実に行う**
  アース（接地）が不確実な場合は、故障や漏電のとき感電の原因になります。
- **アース線は次のようなところに接続しない**
  ①ガス管…引火や爆発のおそれがあります。
  ②避雷針・電話のアース線…落雷のとき、大きな電流が流れるおそれがあります。
  ③水道管…塩ビ管ではアースの役目を果たしません。また、金属管では電蝕のおそれがあります。

- **据付作業では、圧縮機を運転する前に、確実に冷媒配管を取り付ける**
  冷媒配管が取り付けられておらず、サービスバルブ開放状態で圧縮機を運転すると、空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧となり、破裂・ケガなどの原因になります。

- **冷媒回収（ポンプダウン）作業では、冷媒配管を外す前に圧縮機を停止する**
  圧縮機を運転したまま、サービスバルブ開放状態で冷媒配管を外すと空気などを吸引し、冷凍サイクル内が異常高圧となり、破裂・ケガなどの原因になります。

- **Fケーブルの配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取り付ける**
  カバーの取り付けが不完全な場合は、端子接続部の発熱・火災や感電の原因になります。

- **Fケーブルからより線をハンダ付けしてコンセントを付けたり、Fケーブルに直接コンセントを取り付けるなどの加工は行わない**
  火災や感電の原因になります。

⚠注意

- **設置場所によっては漏電遮断器を取り付ける**
  漏電遮断器が取り付けられていないと、感電の原因になることがあります。

- **可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へは設置しない**
  万一ガスが漏れて室内外機の周囲にたまると、発火の原因になることがあります。

- **排水工事は、据付説明書に従って、確実に排水するよう配管を行う**
  不確実な場合は、屋内に浸水し家財などを濡らす原因になることがあります。

据付場所の選定
（下記の点に注意し、お客さまの同意を得て据え付けてください。）

室内機

⚠警告
本体を十分ささえられ、振動が出ない、強度のあるところに据え付ける

⚠注意
- **近くに熱の発生がなく、吹出口付近をふさがないところ**
- **本体の上・左・右に下図の⟺印の間隔をあけられるところ**
- **ドレン排水が容易にでき、室外機と配管接続ができるところ**
- **可燃性ガスの漏れるおそれのある場所や、蒸気・油煙などの発生しないところ**
  引火や爆発・樹脂の劣化や破損のおそれがあります。
- **室内機およびリモコンはテレビやラジオから1m以上離す**
  画像の乱れや雑音が入ることがあります。
- **高周波機器、高出力の無線機器などからはできるだけ離す**
  エアコンが誤動作する場合があります。
- **電子点灯形の照明器具がある場合は、受信距離が短くなることがあり、場合によっては信号を受け付けないことがあります**

室外機

⚠警告
室外機の重量に十分耐える場所で、騒音や振動が増大しないところに据え付ける

⚠注意
- **雨や直射日光があたりにくい風通しのよいところ**
- **吹き出した風が直接動物や植物にあたらないところ**
- **本体の上・左・右・前・後に下図の⟺印の間隔をあけられ2面以上開放できるところ**
- **吹き出した風や騒音がご近所のめいわくにならないところ**
- **強風の当たらない場所**
  特にビルの屋上では、風が強く室外ファンが破損することがあります。
- **室外機をベランダの手すりに近づけて設置しない**
  高層階などのベランダに設置される場合、お子様が室外機の上に乗り、手すりを乗り越え、落下事故につながるおそれがあります。
- **可燃性ガスの漏れるおそれのないところや、蒸気や油煙などの発生しないところ**
- **排出されたドレン水が流れても問題のないところ**
- **室外機およびFケーブルはテレビ・ラジオ・インターホン・電話などのアンテナ線や信号線、電源コードなどから1m以上離す**
  ノイズで影響をおよぼす場合があります。
- **室外機は、小動物のすみかになるような場所には設置しない**
  小動物が侵入して、内部の電気部品に触れると、故障や発煙・発火の原因になることがあります。また、お客様に周辺をきれいに保つことをお願いしてください。
- **後々のサービス・補修などを考慮した場所を選定する**

番号	付属部品	員数
①	リモコン取付具	1
②	乾電池（単4）	2
③	リモコン取付具固定ねじ	2
④	保冷用断熱材	1
⑤	リモコン	1
⑥	据付板・本体固定ねじ	9
⑦	ナノチタン除菌・脱臭空清フィルター	1
⑧	本体固定ねじ（床面用）（⑥と共通部品）	3
⑨	本体固定ねじ（背面用）(4.0×34)	2
⑩	配管穴断熱材	1
⑪	Tカバー	3
⑫	シート	3
⑬	ケーブル固定用バンド	1
⑭	内受電切換用コネクタ（黒色）（室内機電気品上側に付属）	1
⑮	スキマ止め	1
⑯	型紙	1
⑰	据付板	1

室内・室外機据付図（平地置台設置例）

壁掛けとして据え付ける場合
（P.6、P.7を参照）

床置きとして据え付ける場合
（P.3～P.5を参照）

右図の⟺印寸法はエアコンの運転を保証するために必要な寸法です。後々のサービス・補修等を考慮してできるだけ周囲の空間が大きくとれる場所に設置してください。

横引きなど屋内を通す配管は、保冷用断熱材をかぶせてください。
保冷用断熱材が不足するときは、サービスパーツ品　RAF-36Z 020 を使用してください。

隠蔽部、および室内横引き配管を行う場合には、結露防止性能が高い配管を使用してください。

150mm以上
200mm以上
100mm以上
約0.45m
約300mm
曲げられません
⑰
すき間がないよう確実にシールしてください。
- 室内機の吹き出し口をさえぎる段差などがある場合は、壁掛けとして据え付けて吹き出し口が高くなるように据え付けてください。

配管長さ最大25m（冷媒チャージレス）
配管カバー（別売）
200mm以上
（ベランダ天井据付けのときは50mm以上）
※50mm以上
※できるだけ広くあけてください。
200mm以上
100mm以上
※500mm以上
平地置台（別売）
アース線
アース棒（別売）

冷凍機油は水分に弱いためサイクル内に水が入らないようにしてください。

- 室内機と室外機の高低差は10m以内にしてください。
- 配管は必ず細径側、太径側ともに断熱したものを使用し、表面にテープを巻いてください。テープを巻かないと断熱材が早く劣化してしまいます。

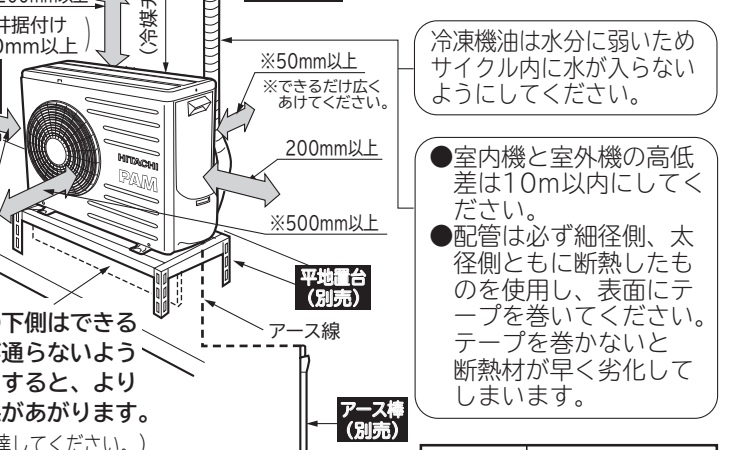
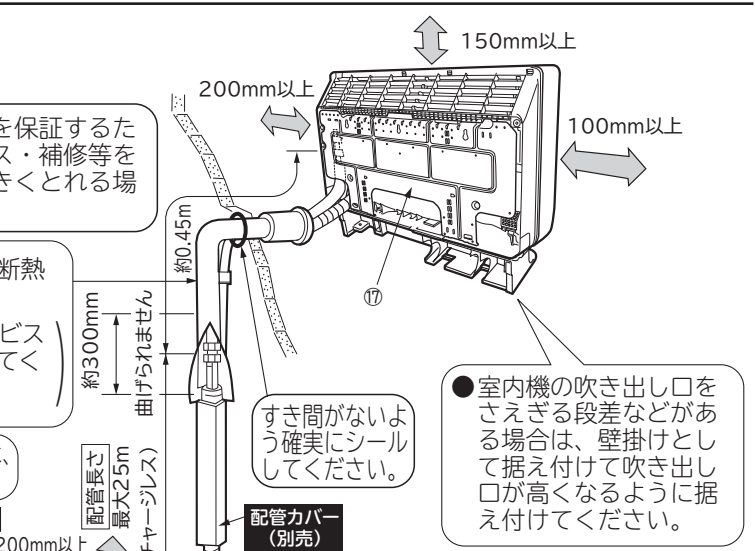
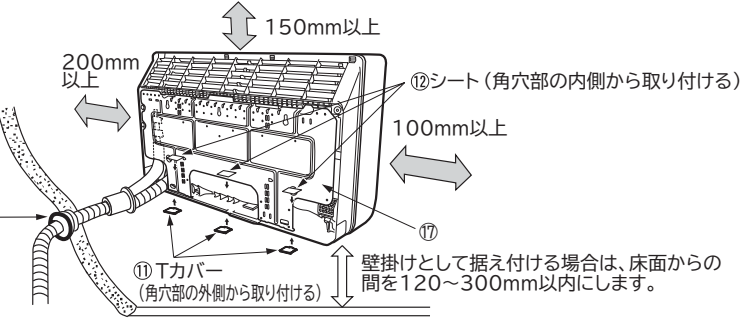
配管引出し方向

配管は後直引き・下引き・右横引きの3方向に可能です。

室外機の下側はできるだけ風が通らないようにしゃ閉すると、より暖房効果があがります。
（現地で調達してください。）

アース棒	長さ
SP-EB-1	450mm
SP-EB-2	900mm（D種接地工事推奨品）

（アース棒、アース線は付属されていません。別売品をご利用ください。）

P.8の防雪フード（別売）を取り付けする場合は、前面・左側面・上面には十分なスペースを確保してください。取り付けの詳細は防雪フード（別売）の取付説明書に従ってください。

振動が家屋に伝わるおそれのある場合は、室外機と据付具の間に防振ゴム（別売部品）を入れてください。

室　内　機

1《 床置きとして据え付ける場合 》

1-1 室内機固定の位置決め

穴位置

- 室内機を据え付ける位置を決めます。
- 穴は右図の位置が標準です。（単位：mm）
- 壁穴位置決め時には同梱する型紙を使って背面固定穴位置を出しておくと作業が効率的です。（1-4 室内機の固定を参照）
- 床置きとして据え付ける場合もホコリ浸入防止のため据付板を使用ください。

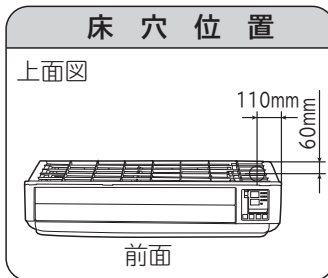
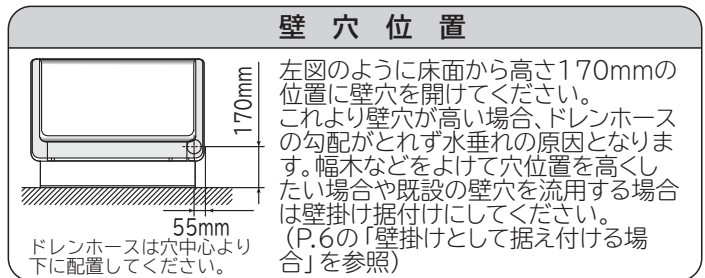
下引きの場合

床　穴　位　置

後直引きおよび右横引きの場合

壁　穴　位　置

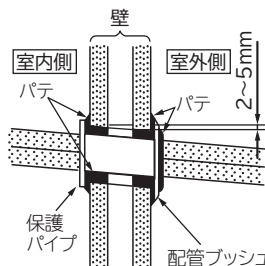
ドレンホースは穴中心より下に配置してください。

左図のように床面から高さ170mmの位置に壁穴を開けてください。これより壁穴が高い場合、ドレンホースの勾配がとれず水垂れの原因となります。幅木などをよけて穴位置を高くしたい場合や既設の壁穴を流用する場合は壁掛け据付けにしてください。（P.6の「壁掛けとして据え付ける場合」を参照）

穴あけおよび保護パイプの取り付け

床穴の場合

- φ65mmの穴を前面から見て右側にあけます。
- 床下や室外の高湿空気の浸入等がないようパテ等で完全にシールします。

壁穴の場合

- φ65mmの穴を外側に下がりぎみにあけます。
- 保護パイプを壁の厚さに合わせ切断し壁穴に通します。
- 雨水や外気の浸入等がないようパテで完全にシールして配管ブッシュを付けます。

⚠ 警告

- **保護パイプ（市販品）は必ず使用する**
  接続ケーブルが壁の中のメタルラスに接触したり、壁が中空の場合、ねずみにかじられたりして感電・火災などの原因となります。
- **パテで完全にシールする**
  壁内や室外の高湿空気が室内に浸入し、露たれの原因になります。また壁内や室外のにおいが室内に浸入する原因となります。

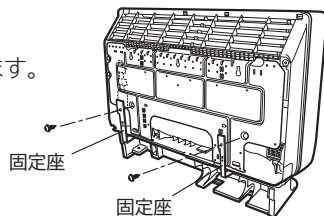
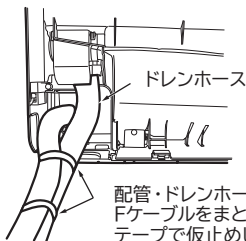
1-2 室内機据え付けの準備

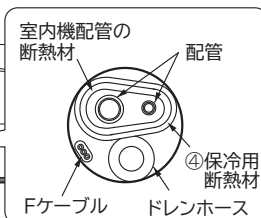
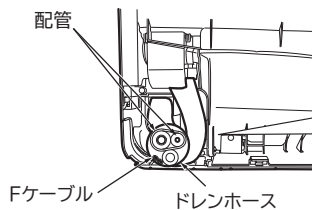
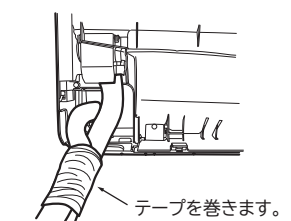
ビルトイン据え付けを行う場合は、P.7の「ビルトイン据え付けについて」を参照してください。

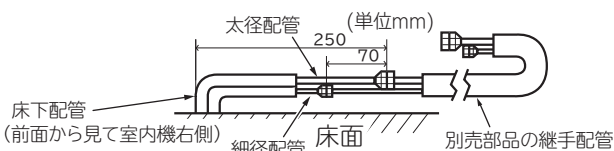
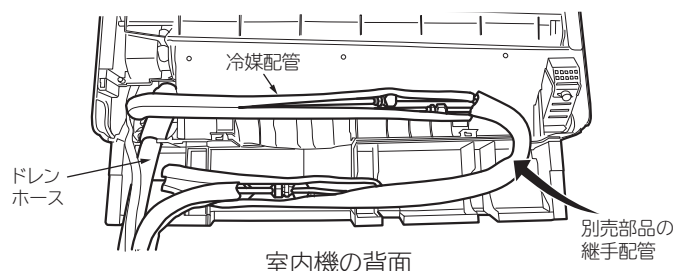
配管の準備

- 据付板を本体より取り外します。（ねじ2ヵ所および固定座）

⚠ 注意

配管整形時には、配管の根元を手で押さえながら、整形してください。

- 冷媒配管・ドレンホース等を整形してまとめます。

壁穴貫通部をテープ巻きします。

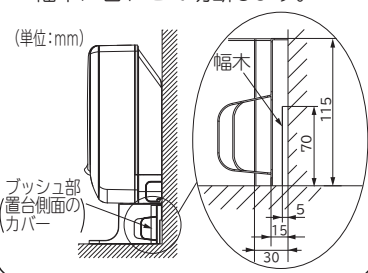
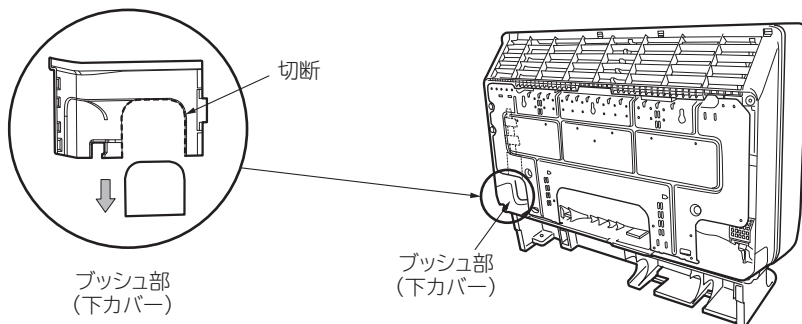
- 冷媒配管を整形します。
- 配管は壁・または床穴を通します。

下引きの場合　下引き配管の場合は、別売部品の継手配管（SP-FSH）を床下配管に接続して室内機と接続できるようにします。

室内機の背面

別売部品の継手配管（SP-FSH）を使用した場合も、必ず付属の保冷用断熱材を使用して、P.6の「配管の接続」同様な断熱処置をしてください。

室内機の準備

幅木のある場合

●幅木の大きさが厚さ5～30mm、高さ70～115mmの場合は幅木に合わせて切断します。

(単位：mm)

幅木
115
70
5
15
30
ブッシュ部
(置台側面のカバー)

●右または下引き配管時は下カバーのブッシュ部をPカッター等で切り取り、やすりで体裁よく仕上げてください。

警告

●**ドレンホースは左横引きにしない**
ドレンホースを左横引きにすると勾配がとれなくなり、水垂れの原因になります。

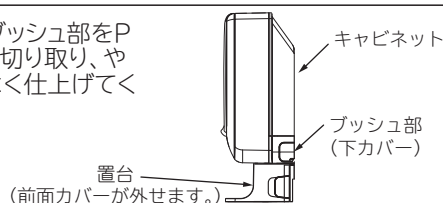
下カバーブッシュ部の切断
(右横引き、下引きの場合)

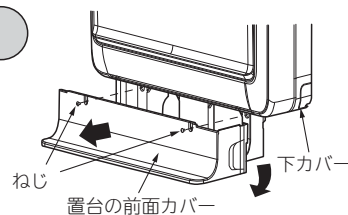
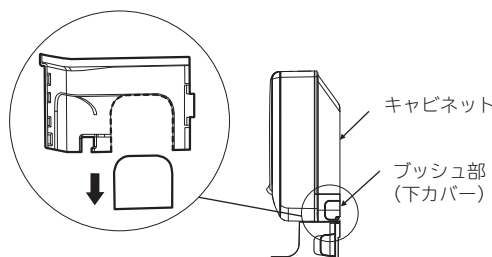
右横引きの場合

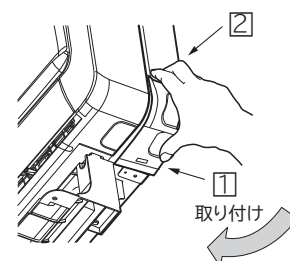
●下カバーのブッシュ部をPカッター等で切り取り、やすりで体裁よく仕上げてください。

キャビネット
ブッシュ部
(下カバー)
置台
(前面カバーが外せます。)

下引きの場合

●下カバーのブッシュ部をPカッター等で切り取り、やすりで体裁よく仕上げてください。

下カバーの取り外し

●置台の前面カバーを外します。
(前面カバーの右側面を外側へゆっくり広げながら外してください)

●下カバーの下側奥(1部)を押して取り外します。

下カバーの取り付け

●2部を先に取り付け、2部を支点として回転させて1部を取り付けます。

1-3 室内機の据え付け

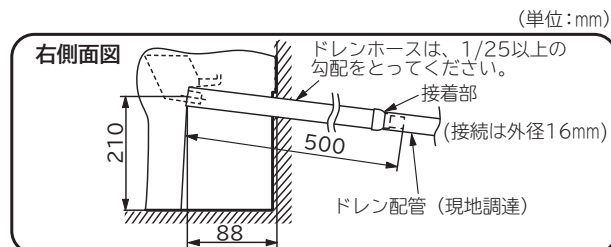
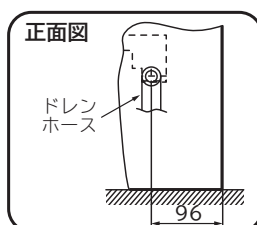
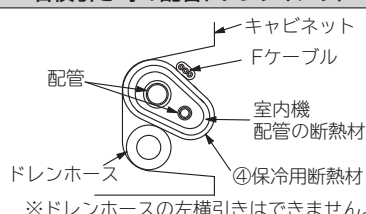
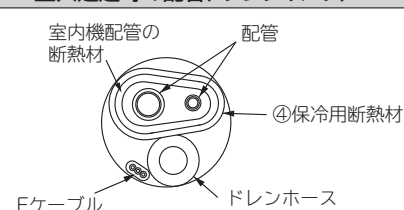
ドレン配管工事

●ドレン配管は排水が途中で溜らず確実に流れるよう、下り勾配を付けてください。
特に右横引き・後直引きの場合は、右下の図のように必ずドレンホースが下側になるようにして下り勾配を付けてください。

●置台の前面カバーと下カバーを取り外して、ドレンホースの下り勾配を確認してください。
(P.4の「下カバーの取り外し」を参照)

●室内機のドレンホース(接続口外径16mm長さ500mm)に対し、右図のように長さの不足分はドレン配管(現地調達)を接続してください。

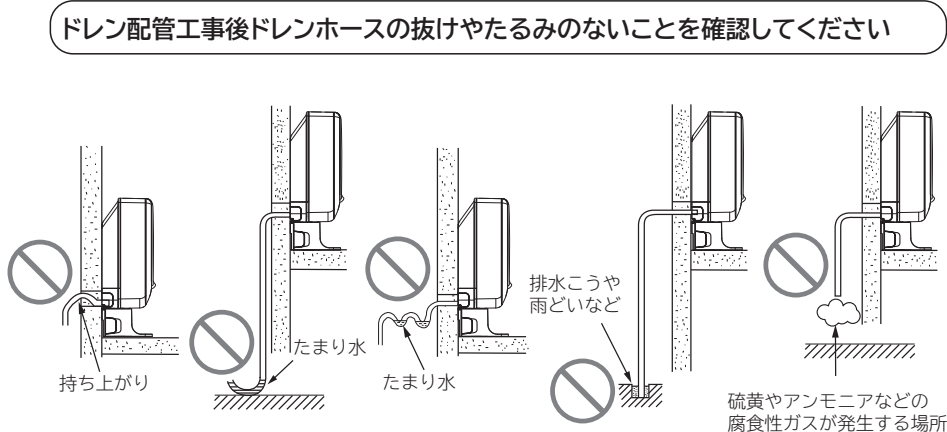
●屋内部のドレン配管は結露防止のため、肉厚10mm以上の断熱材で覆い断熱の強化をしてください。

(単位：mm)

排水の確認

室内機のドレン配管工事終了後、水を流して確実に排水されることを確認してください。（確認を怠ると水垂れの恐れがあります。）

⚠注意

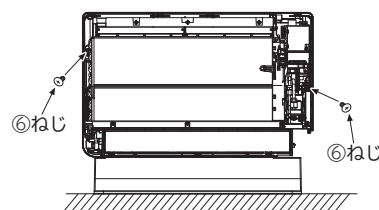
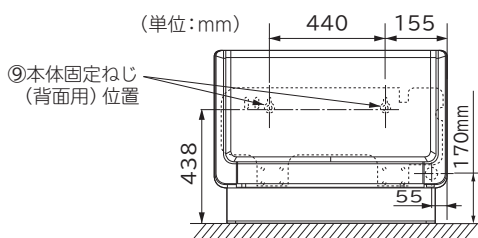
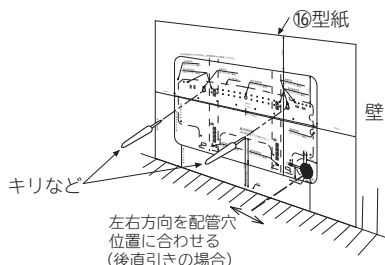
●**ドレン工事は、確実に排水できるように配管し、必ず排水の確認を行う**
確認を怠ると、水垂れとなることがあります。
●**右図のような不具合がないことを確認する**
ドレン詰まりをおこし、水垂れとなります。
●**ドレンホースは1/25以上の勾配をとること**
●**ドレンホースは左横引きにしない**
ドレンホースを左横引きにすると勾配がとれなくなり、水垂れの原因となります。
●**浄化槽等、腐食性ガス（硫黄・アンモニア等）が発生する場所にドレンホースを導かないでください。**
腐食性ガスがドレンホースから室内機に逆流し、銅配管を腐食させたり室内の異臭の原因になることがあります。

ドレン配管工事後ドレンホースの抜けやたるみのないことを確認してください

1-4 室内機の固定

本体上部の固定

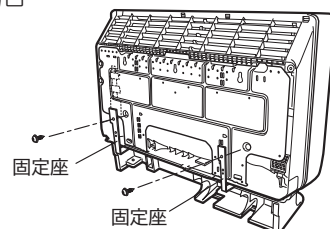
⚠警告 室内機は必ず壁または床等に固定し、倒れ防止を施すこと

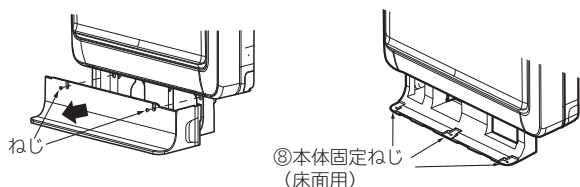
※フロントカバーを外せば（P.9の「フロントカバーの取り外しかた」を参照）本体の両端を壁にねじ固定することもできます。（⑯型紙を参照してください）

1 型紙を利用して、各穴位置を確認します。

●間柱などをさがすのが困難なときは、ボードアンカー（市販品）等をご使用ください。
●「本体固定用穴位置」(2ヵ所)と「配管穴位置」(後直引きの場合)、「床据付位置」および「据付板固定用位置」については、⑯型紙を同梱してありますので、穴位置決めに使用できます。（P.7の「本体上部の固定」を参照）
●上図のように⑯型紙を床面を下にして室内機を置く面に合わせて壁にあてます。キリなどを使って、穴位置を壁にマーキングします。後直引きの場合は配管穴位置にマーキングして行います。

2 本体背面を壁に引っ掛けます。

●上図の位置にアンカーボルト(市販品)または⑨本体固定ねじ(背面用)2本を埋め込みます。室内機を少し持ち上げて引っ掛けます。(P.7の「本体上部の固定」を参照)ねじ位置を確認してください。
●室内機と後ろの壁との間にすき間がある場合には、固定座を取りつけ固定してください。

⚠警告
⑥ねじ固定時は、他部品に損傷がないよう作業を行うこと

本体床面への固定

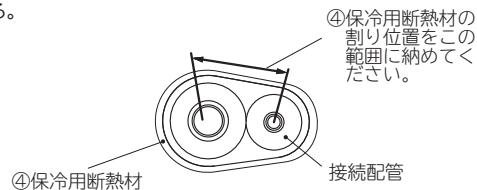
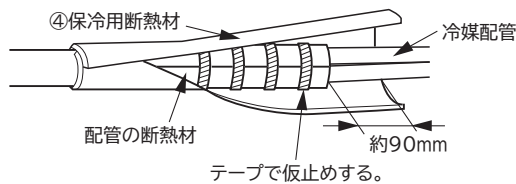
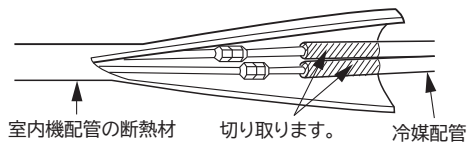
●置台前面のカバーの右側面を外側へゆっくり広げながら置台前面のカバーを外します。その後室内機の底面3ヵ所を⑧本体固定ねじ（床面用）で固定します。床面に固定後、再び置台前面のカバーを取り付けます。

⚠警告
室内機の転倒防止の為、必ず本体固定ねじ（床面用）を取り付けること

強制
本体固定ねじ（床面用）を取り付ける際には、梱包に使用されていたフロントパネル保護シートを使用し、必ずフロントパネルを保護すること

配管の接続

● 冷媒配管を接続します。
（P.11の「冷媒配管の接続」を参照）

1. 冷媒配管の断熱材を室内機配管の断熱材の端面に合わせて切断し、テープで仮止めします。
2. 配管接続部を④保冷用断熱材の割りを上にして覆い、すき間のないようにテープを巻きます。テープは締め過ぎないように巻きます。（P.14の「配管の断熱と仕上げ」を参照）
すき間があったり締め過ぎたりすると露たれの原因になります。
3. 別売部品の継手配管（SP-FSH）を使用した場合も、必ず付属の保冷用断熱材を使用して、同様の断熱処置をしてください。

④保冷用断熱材の割り位置をこの範囲に納めてください。
④保冷用断熱材
接続配管

2《 壁掛けとして据え付ける場合 》

2-1 室内機固定の位置決め

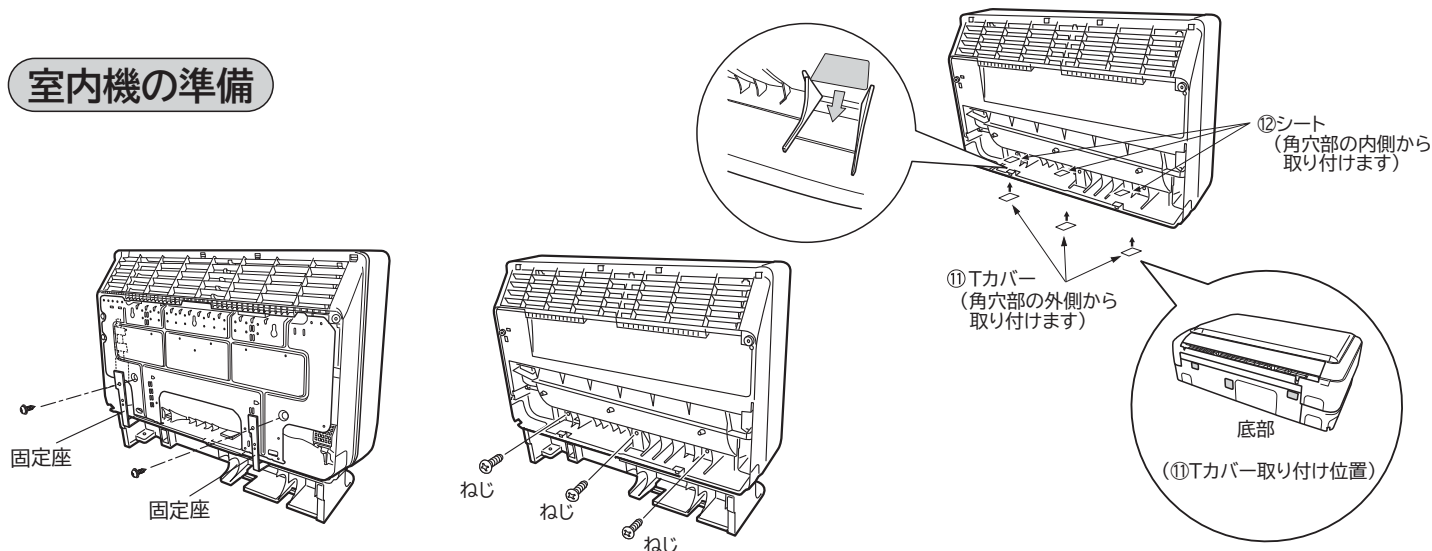
穴あけおよび保護パイプの取り付け

● P.3の「床置きとして据え付ける場合」の壁穴位置を参照してください。

2-2 室内機据え付けの準備

配管の準備

● P.3の「床置きとして据え付ける場合」の後直引きと右横引きを参照してください。

室内機の準備

1. 据付板を本体より取り外します。（ねじ2ヵ所および固定座）
※壁掛けとして据え付ける場合は固定座を使用しません。（取り付ける必要がありません）
2. 置き台を本体より取り外します。（ねじ3ヵ所）
3. 置き台取り付け部の穴に同梱している⑪Tカバーを取り付けます。
4. Tカバーを取り付けのあと、本体に同梱している⑫シートをはりつけます。

フロントカバーの取り外し
下カバーの取り外し
下カバーブッシュの切断

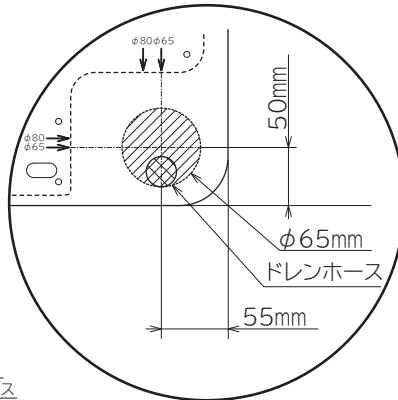
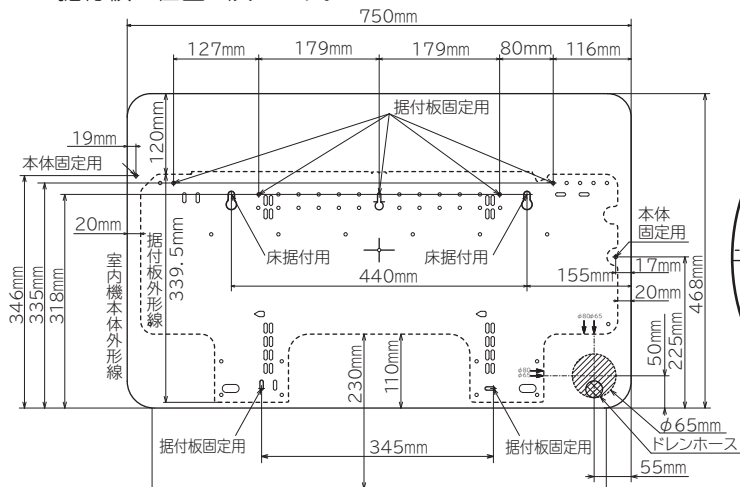
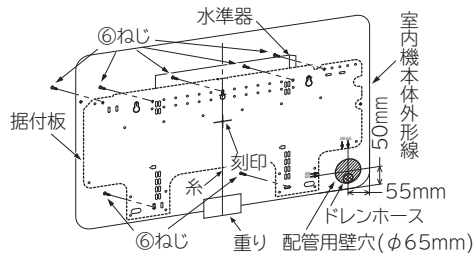
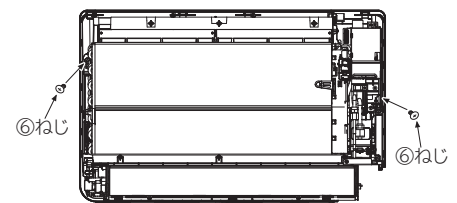
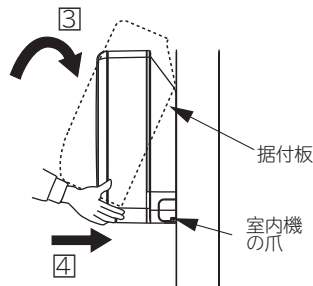
●「床置きとして据え付ける場合」を参照してください。（P.4・9参照）

⚠注意

⑫シートのはりつけは、Tカバーと本体のすき間がかくれるようにはりつけてください。

2-3 室内機の固定

本体上部の固定

●壁内の構造体（間柱など）をさがして、据付板を固定します。
●間柱などをさがすのが困難なときは、ボードアンカー（市販品）等をご使用ください。
●室内機の高さは床面から本体底面まで120～300mm以内にしてください。
1 ⑯型紙を利用して、本体固定用穴、据付板固定用穴および配管穴の位置を確認して据付板の位置を決めます。

室内機の脱落防止の為、同梱してある⑯型紙を利用し、据付板を必ずねじ7本で壁に固定すること
ボードアンカー等を使用する場合は、ねじの引抜強度が196N以上の物を使用してください。

ねじは7本使用してください

2 上図の位置にボードアンカー等を使用して、⑥据付板固定ねじ7本で据付板を固定します。

3 室内機の上部を据付板に引っ掛けます。
4 室内機下部を壁に押しつけ、室内機の爪を据付板にはめこみます。

※ フロントカバーを外せば本体を壁にねじ固定することもできます。（ねじ2本）

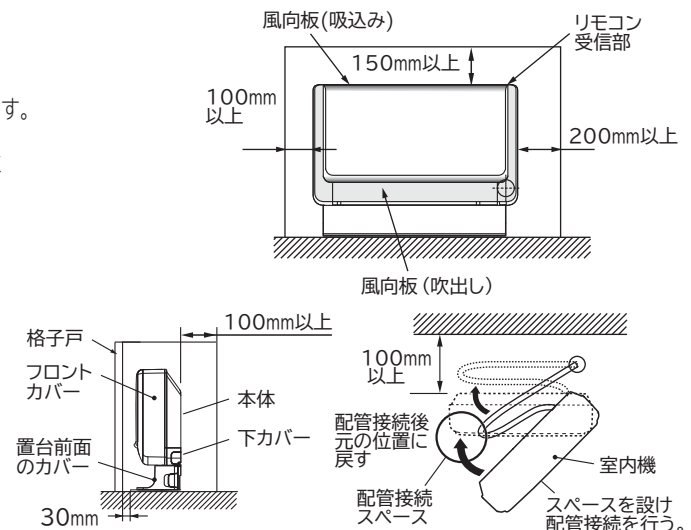
2-4 室内機の据え付け

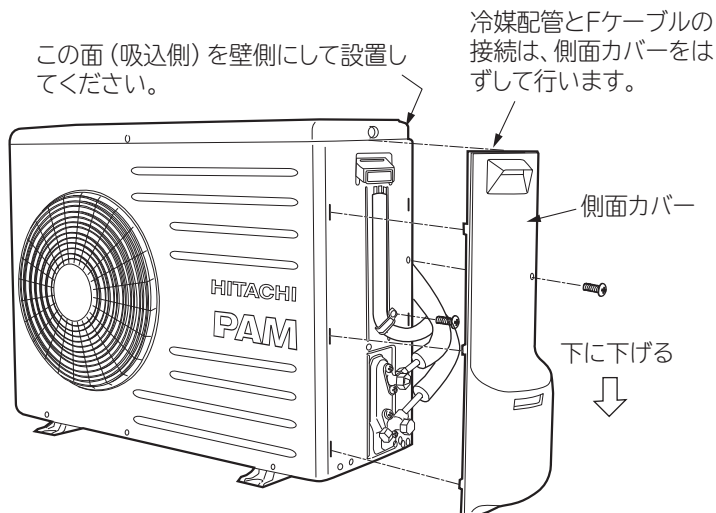
ドレン配管工事　排水の確認　配管の接続

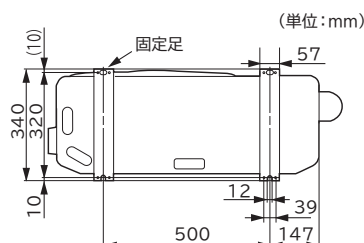
●P.3の「床置きとして据え付ける場合」を参照してください。

ビルトイン据え付けについて

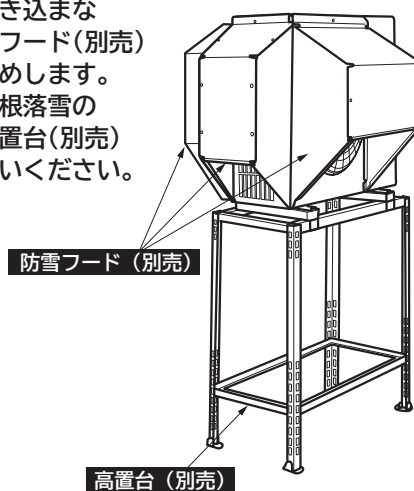
ビルトイン据え付け時の注意点

●周囲寸法は、右図のスペース寸法を確保します。
●配管の壁穴または床穴は、右側に設けます。
　下引き配管時は、床穴から配管を1～1.3m出してください。
●配管は室内機裏側にループを作り、室内機の向きを変えて配管接続スペースを設けます。
　（ループ配管スペースとして、室内機背面に100mm以上のスペースが必要です）
●配管接続後、室内機を元の位置に戻したとき、ドレンホースのたるみができないように必ず、下カバー・置台前面のカバーを外して調整してください。
　（P.4の「下カバーの取り外し」を参照）
●室内機がぐらつかないように、しっかりと固定してください。
●全面を格子戸で囲う場合は、吹出し空気がスムーズに室内に出てくるよう格子の吹出口部は、できる限り開口を広げてください。
　吹出し空気がスムーズに出ない場合は、適切な空調ができません。
●格子戸の開口率が75％未満である場合は、最大性能が出ない場合があります。
●格子は、縦格子にしてください。横格子は吹出口と同じ方向になるため、間隔が狭いとショートサーキットの原因となり連続運転ができないことがあります。
●リモコン受信部が格子戸で隠れてしまう場合、信号をうまく受けなくなる恐れがありますので、格子でリモコン受信部を隠さないでください。
●ビルトインによる据え付けで空調した場合、設定温度の到達には通常より時間がかかることがあります。

室　外　機

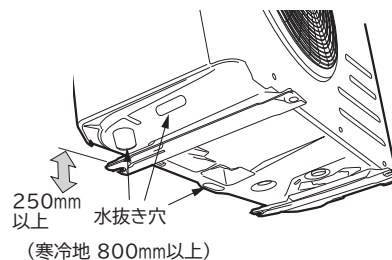
●振動や騒音が増大しないようにしっかりした場所に設置してください。
●配管類をおおよそ整形して、位置を決めてください。
●側面カバーは取っ手を持ち、下方へずらして端部のフックをはずしてから引いてください。
取り付けるときは、逆の手順で行います。

振動が家屋に伝わるおそれのある場合は、室外機と据付具の間に防振ゴム（サービスパーツ品RAC-N22S 100）を入れてください。

室外機の固定足寸法

⚠注意

●室外機の吸い込み口や底面、アルミフィンにさわらない
ケガの原因になります。

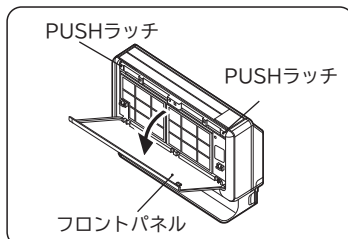
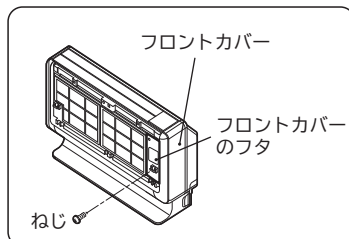
雪の多い地方では季節風や雪が、室外機に直接吹き込まないように別売の防雪フード（別売）の取り付けをおすすめします。積雪の深さおよび屋根落雪の影響を考慮して、高置台（別売）と組み合わせてお使いください。

室外機凝縮水処理

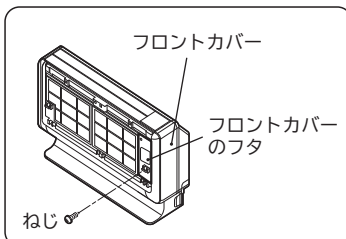
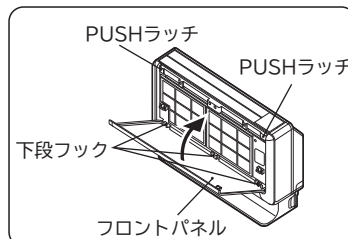
●室外機のベースには地面に凝縮水を排出するよう水抜き穴があいています。
水抜き穴と地面との距離は250mm（寒冷地では800mm）以上確保してください。
●室外機は水平に据え付け、凝縮水の排水を確認してください。

水抜き穴はふさがない
凝縮水がベース表面・熱交換器に凍結し性能の低下や故障の原因となります。

室外機から受電する場合のフロントカバーのフタの着脱のしかた

⚠注意

室外機から受電する場合、先にフロントカバーからフロントカバーのフタを取り外してください。
取り外し、取り付け方法は下記の手順に従い行ってください。

1. フロントカバーのフタの取り外し方法

1 両サイドにあるPUSHラッチ部を押してフロントパネルを開き、下段フックからフロントパネルを取り外してください。

2 フロントカバーのフタを固定しているねじ1本を外しフタを取り外してください。

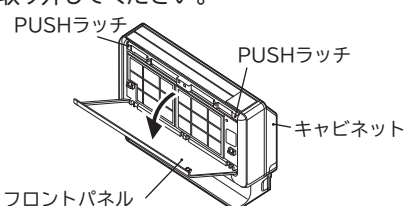
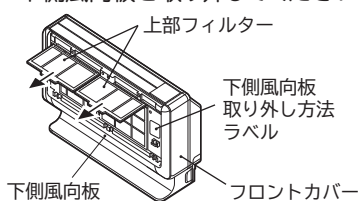
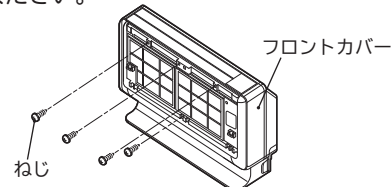
2. フロントカバーのフタの取り付け方法

3 フロントカバーのフタを取り付け、ねじ1本を用いてしっかり固定してください。

4 フロントパネルを下段フックに取り付け、フロントパネルをPUSHラッチのクリック感が得られるまで押し込んでください。

室内機から受電する場合のフロントカバーの着脱のしかた

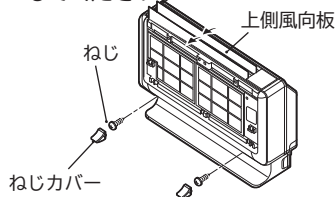
フロントカバーの取り外しかた

⚠注意

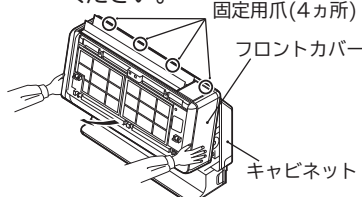
●**設置する際、室内機から下側風向板とフロントカバーを取り外してください。**
下側風向板に保護フィルムが付いていない場合は、必ず下側風向板取り外し方法ラベルの手順に従い、下側風向板を取り外してください。（下記手順 2 ）
フロントカバー取り外しの際、固定爪にあまり多くの力を掛けすぎると破損の原因となる恐れがあります。（下記手順 5 ）
取り外し、取り付け方法は下記の手順に従い行ってください。
●**フロントカバーにはコードが付いています。**
コードの損傷防止のため、フロントカバーの取り外しは、下記の手順に従い行ってください。
●**フロントカバーを取り外す時は、必ず上部フィルターを外してください。（手順 2 ）**
フィルターが破損する恐れがあります。

1 両サイドにあるPUSHラッチ部を押してフロントパネルを開き下段フックからフロントパネルを取り外してください。

2 上部フィルター（2つ）を引き出し、取り外してください。下側風向板を取り外してください。

3 フロントカバーのねじ4本を外してください。

4 フロントカバーの下2ヵ所にあるねじカバーを外してねじ2本を外した後、上側風向板を全開状態にしてください。

⚠注意

サービス時、フロントカバーを取り外す際は、下側風向板の傷付きを防止するため、下側風向板を取り外してください。
（P.16の「下側風向板の取り外しかた」参照。）

5 フロントカバーの両側をしっかりと持って、下側から手前斜め上方向へ引き抜いてください。

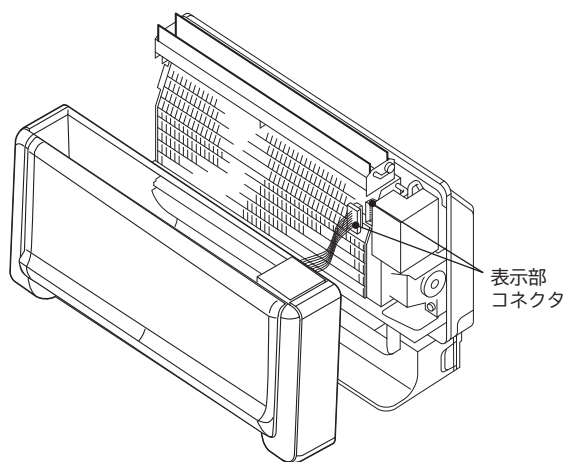
⚠注意

フロントカバーを持ち上げる際上側風向板が全開状態であることを確認してから持ち上げてください。

6 フロントカバーを引き抜いた後下記 6-1 ～ 6-4 に従って表示部コネクタ（白色）を取り外してください。

室内機を上方から見た図

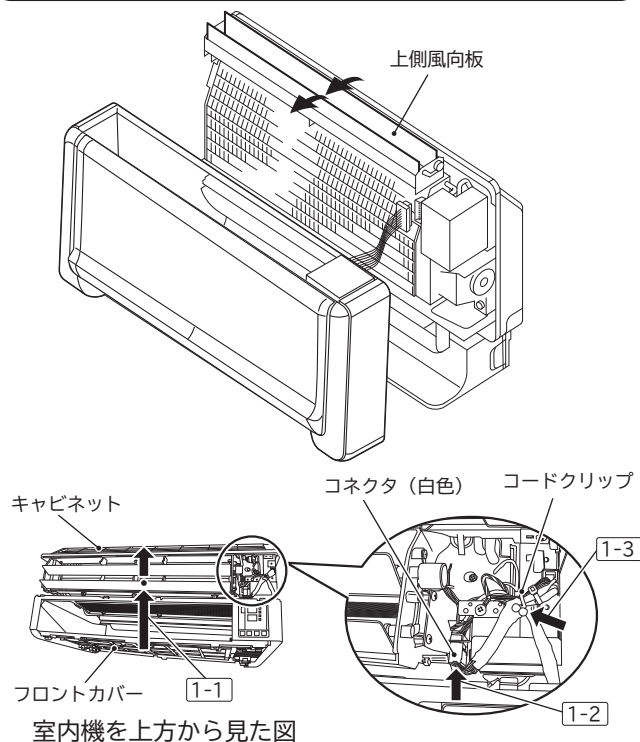
6-1 フロントカバーを15cm程開く。
6-2 フロントカバーのコードを固定しているコードクリップを外す。
6-3 コネクタ（白色）を外す。
6-4 フロントカバーを取り外す。

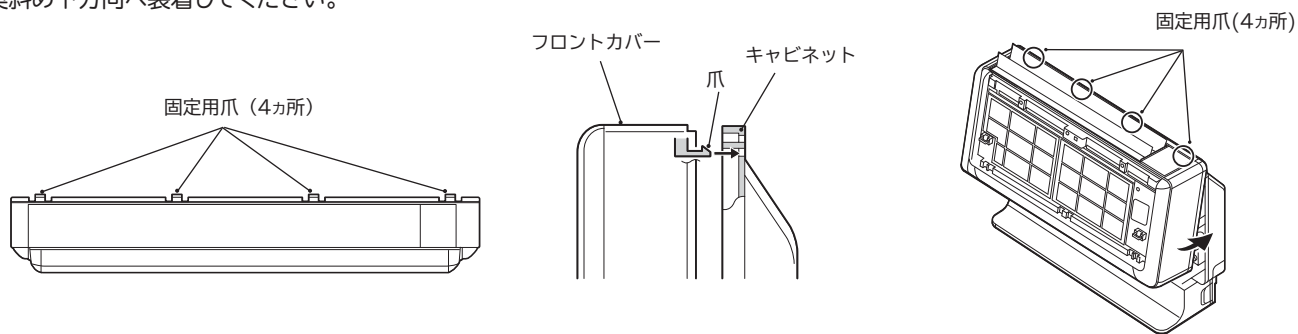
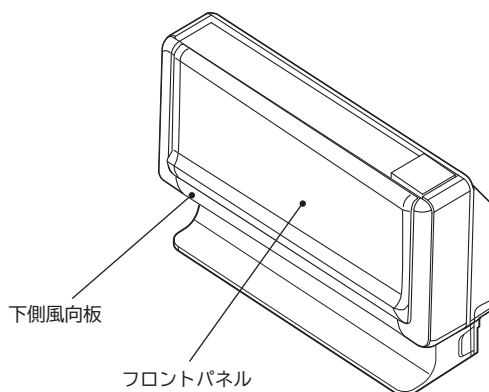
フロントカバーの取り付けかた

1 上側風向板を全開状態にし、右下の 1-1 ～ 1-3 に従って表示部コネクタを接続してください。

取り外し時と逆の手順で取り付けてください。なおフロントカバーのコードは必ずコードクリップで固定してください。また、コード・リード線の噛み込みに十分注意しながら取り付けを行ってください。

⚠注意

●フロントカバーにはコードが付いています。
コードの損傷防止のため、フロントカバーの取り付けは、下記の手順に従い行ってください。

室内機を上方から見た図

1-1 フロントカバーを前面に準備する。
1-2 コネクタ（白色）を取り付ける。
1-3 フロントカバーのコードを固定していたコードクリップを取り付ける。

2 上側風向板をフロントカバーの上部枠に潜らせながら、フロントカバー固定用の爪（4ヵ所）をキャビネットの挿入溝に差し込んで奥斜め下方向へ装着してください。

3 フロントカバー装着後、取り外したねじ（6本）、ねじカバー（2つ）を取り付けてください。上部フィルター（2つ）を元通りに取り付けてください。最後に9頁右上に従い、フロントカバーのフタとフロントパネルを取付けてください。

冷媒配管の接続・エアパージ

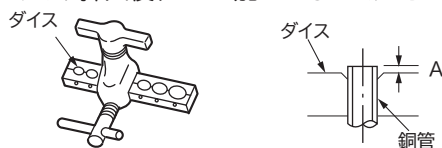
1 冷媒配管の切断とフレア加工

●パイプカッターで切断し、バリ取りを行います。

⚠注意

●バリ取りをする
バリ取りをしないとガス漏れの原因になります。

●切粉が銅管内に入らないように
バリ取り時には銅管を下向きにする

●フレアナット挿入後、フレア加工をしてください。

※R410A用専用工具の使用を推奨します。

外径（φ）	A（mm）〔リジット〕	
	R410A用専用工具の場合	R22用専用工具の場合
6.35（1/4インチ）	0～0.5	1.0
9.52（3/8インチ）	0～0.5	1.0

冷媒配管 ●市販の材料を使用する場合は、次のことを守ってください。

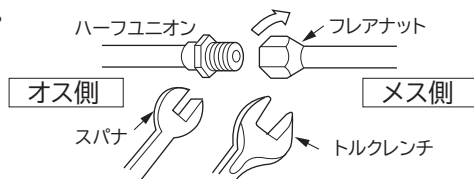
	φ6.35（1/4インチ）	φ9.52（3/8インチ）
肉　厚	0.8mm	0.8mm
材料および規格	リン脱酸銅 C1220T JISH3300（付着油量:40mg/10m以下）	
断熱材	●耐熱発泡ポリエチレン 比重0.045 肉厚8mm以上　●接続配管は1本毎に各々断熱してください。	

薄肉管（肉厚0.7mmなど）は、使用しないでください。

2 冷媒配管の接続

●室内機の配管からフレアナットを外します。この時ハーフユニオン（オス側）をスパナで固定しながらフレアナット（メス側）をスパナで外します。

●曲げ加工は配管をつぶさないようにしてください。

●接続部に冷凍機油（市販品）を塗り、中心を合わせフレアナットを手で十分締め付けた後、トルクレンチ（スパナ）で確実に締め付けます。

※締め付けトルクは下表に従ってください。

		パイプ外径（φ）	トルクN･m{kgf･cm}
細径側		6.35（1/4インチ）	13.7～18.6{140～190}
太径側		9.52（3/8インチ）	34.3～44.1{350～450}
フクロナット	細径側	6.35（1/4インチ）	19.6～24.5{200～250}
	太径側	9.52（3/8インチ）	19.6～24.5{200～250}
バルブコアのフクロナット			12.3～15.7{125～160}

⚠注意

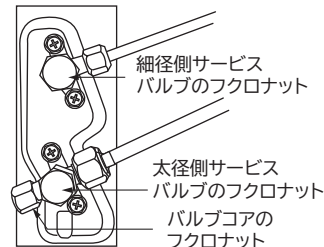
●室内機の配管のフレアナットを外す場合は、細径側パイプを先に外す
太径側から外すとフレアナットが飛ぶことがあります。

●接続側は水分が入らない様にする

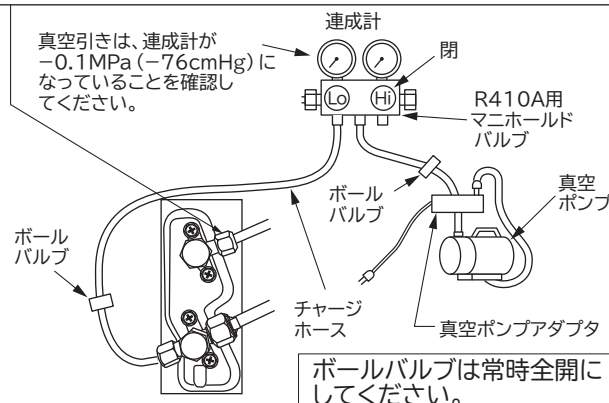
●フレアナットは必ずトルクレンチを使用し、指定の締め付けトルクで締め付ける
フレアナットを締め付け過ぎると長期経過後、フレアナットが割れて冷媒漏れの原因になります。

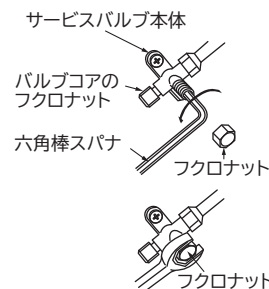
3 エアパージおよびガス漏れ検査

地球環境保護の立場から、エアパージは真空引きポンプ方式でお願いします。

❶
- バルブコアのフクロナットをはずし、チャージホースを接続します。
- 真空ポンプにポンプアダプタを接続し、アダプタにチャージホースを接続します。

❷
- マニホールドバルブのハンドルHiを閉じ、Loを全開にして、真空ポンプを運転（アダプタ電源ON）します。
- 真空引きを10～15分間行った後、ハンドルLoを全閉し真空ポンプの運転を止めます。（アダプタ電源OFF）

真空引きのポイント

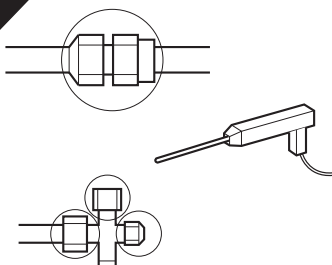
・真空引き始めに、細径側フレアナットを少しゆるめて、エアが入っていくことを確認し、再度フレアナットを締めてください。
・マニホールドゲージの針が急に下がったり動かないときは接続の再確認をしてください。
・真空引きを終了後、マニホールドゲージの針が3～5分間安定していることを確認してください。

❸
- サービスバルブのフクロナットを外します。
- 細径サービスバルブのスピンドルを1/4回転ゆるめ5～6秒後すばやく締めます。
- サービスバルブのフクロナットを左表のトルクで締め付けます。
- 接続部のガス漏れ検査を行い、ガス漏れがないことを確認してください。
- サービスバルブのフクロナットを外します。
- サービスバルブのチャージホースを外します。

❹
- 両方のサービスバルブのスピンドルを反時計方向に軽く当るまで回し、冷媒通路を開けます。（力いっぱい回す必要はありません。）
- フクロナットを元通り左表のトルクで締め付けます。最後に、ガス漏れ検査を行い、ガス漏れがないことを確認してください。

⚠注意

●コントロールバルブを使用するときはパッキンが劣化していないことを確認してハンドルを閉め過ぎないようにする
サービスバルブからガス漏れすることがあります。

〈印刷記号：CS-1Ⓐ〉

ガス漏れ検査

右図の部分をガス漏れ検知器を使用してフレアナット接続部から冷媒漏れがないことを確認します。
漏れのある場合は、増締めするなどして、防止してください。
（R410A用検知器をご使用ください。）

移設時または、取り外し時の作業方法について

地球環境保護の立場から、移設時または取り外し時には冷媒の回収（ポンプダウン）を行ってください。

1. 強制冷房運転（仕上げの項参照）で5分間程度の予備運転を行います。（P.15の「強制冷房運転」の項を参照）
2. 細径サービスバルブのスピンドルを時計回りに回して閉めます。
3. そのまま強制冷房運転を1～2分間行った後、太径サービスバルブのスピンドルを時計回りに回して閉めます。
4. 強制冷房運転を停止します。

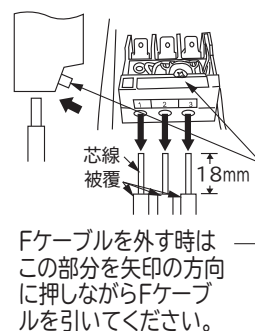
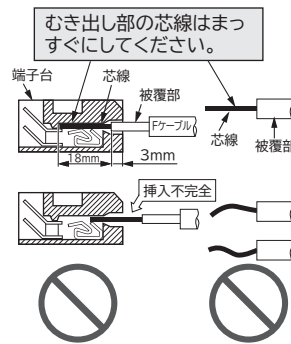
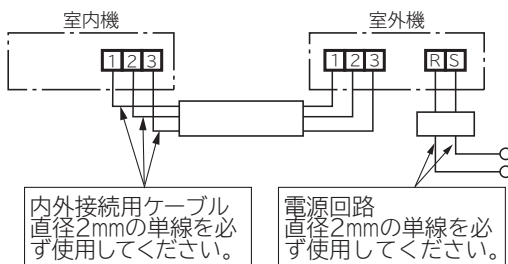
Fケーブルの接続

型　式	電　源
RAF-D36C	単相100V
RAF-D40C2 RAF-D50C2	単相200V

室内機から受電する場合も、室外機から受電する場合も、電源は機種によって単相100Vまたは単相200Vを使用してください。

《 室外機から受電する場合 》

Fケーブルの接続方法

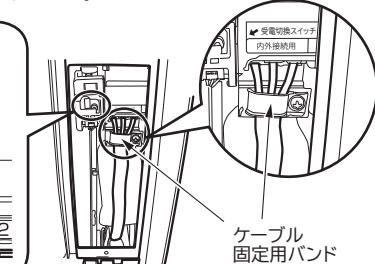
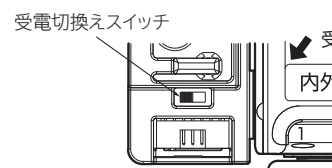
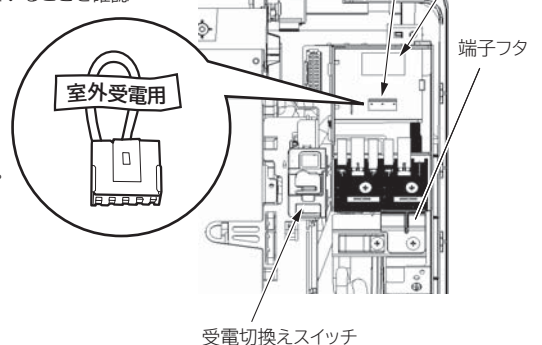
Fケーブルを外す時はこの部分を矢印の方向に押しながらFケーブルを引いてください。

警告

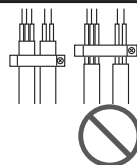
- **Fケーブルは、必ず単線を使用する**
  より線を使用しますと、端子台が焼損することがあります。
- **Fケーブルを途中で接続しない**
  接続部が過熱し、発煙・発火することがあります。
- **Fケーブルの芯線は18mm（最小でも17mm、最大でも20mm）むき出し、芯線がかくれるまで確実に押し込み、各々の線を引っ張って抜けないことを確認する**
  挿入が不十分ですと端子台が焼損することがあります。また、むき出し寸法が17mm以下ですと接触不足により、端子台が焼損することがあります。
- **Fケーブルの芯線は先端を合わせ、まっすぐにする**
- **分岐回路はエアコン専用の回路にする**
- **Fケーブルの取付工事は「電気設備に関する技術基準」に従って行う**
- **必ずブレーカーをOFFにして作業を行う**
  受電をする際、ブレーカーがONになっていると、Fケーブルの1・2端子間には常時100V、または常時200Vが印加されています。

室内機への接続方法（室外受電）

室外機から受電する場合は、下記の作業を行ってください。
※出荷時は受電切換えスイッチと受電切換えコネクタは室外受電用に設定されています。

1. 内外接続用ケーブルを接続してください。
2. 固定バンドで内外接続用ケーブルを固定してください。
3. 受電切換えスイッチを**左側**（室外受電側）にあることを確認します。
4. 受電切換えコネクタは、出荷時は室外受電用コネクタ（**白色**）が接続されています。室外機から受電する場合は、受電切換えコネクタをそのままの設定にしてください。（電気品カバーの内側にあります。）

※移設し室外機から受電する場合は、必ずフロントカバー、電気品のカバーを外し、パワーリレー基板に室外受電用コネクタ（**白色**）が接続されていることを確認してください。

強制　据付工事の際に使用しなかった受電切換えコネクタはお客様に大切に保管してもらう（移設時に必要となる場合があります。）

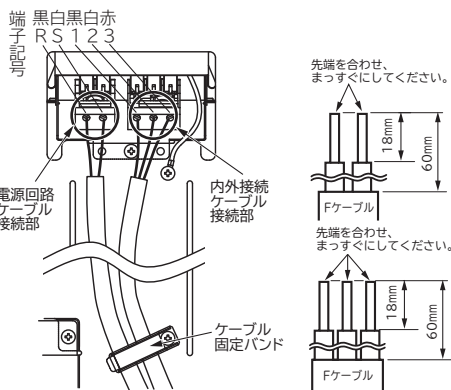
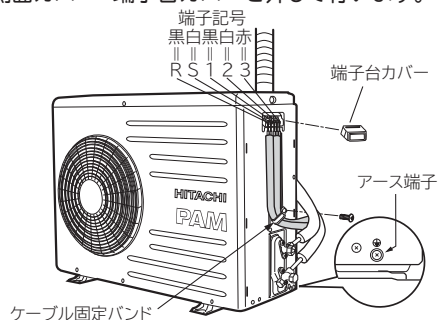
室外受電時は切換えスイッチを**左側**に設定

警告

室外機から受電する場合端子フタは取り外さないでください。
誤接続の原因になります。

警告

- **Fケーブルはサービス時の作業性を考慮して余裕を持たせて必ずケーブル固定バンドで止める**
- **ケーブル固定バンドで止めるときは、Fケーブルの外側の被覆部の上から確実に止め、接続部に外力が加わらないようにする**
  Fケーブルの接続部に外力が加わると、発熱・火災などの原因になります。

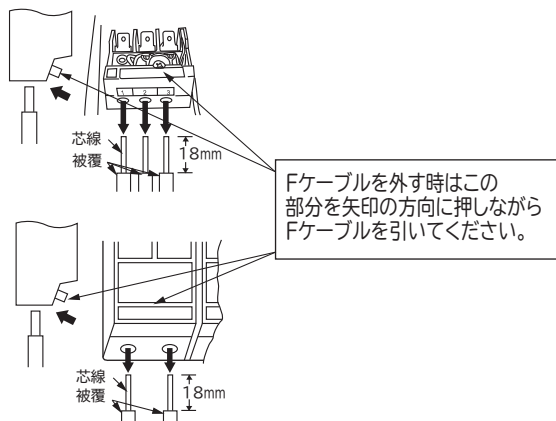
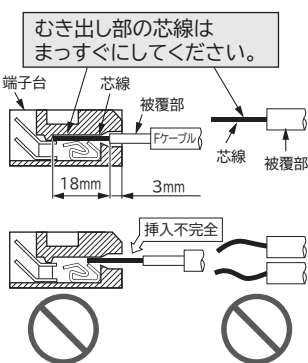
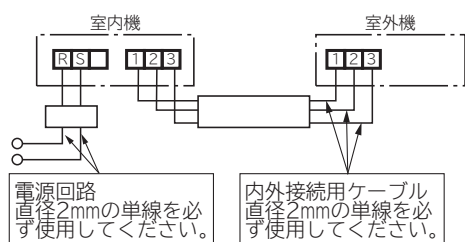
室外機への接続方法

●側面カバー・端子台カバーを外して行います。

⚠警告

●Fケーブルは、必ずケーブル固定バンドで固定する
固定しないと雨水が電気品に入り感電の原因となります。
また、Fケーブルの接続部に外力が加わり、発熱や火災などの原因になります。

●取り外した端子台カバーは工事後必ず取り付ける

《 室内機から受電する場合 》

Fケーブルの接続方法

室内機への接続方法（室内受電）

室内機から受電する場合は、下記の作業を行ってください。

1. フロントカバーを外します。
2. 受電切換えスイッチを**右側**に切替えます。
3. 電気品のカバーを外し、パワーリレー基板上の受電切換えコネクタを⑭内受電切換用コネクタ（**黒色**）に交換します。
   （⑭内受電切換用コネクタ（**黒色**）は室内機電気品上側にコードクリップで固定してあります）
   （工場出荷時は室外受電用コネクタ（**白色**）となっています）

※ 移設し室内機から受電する場合は、必ずフロントカバー、電気品のカバーを外し、パワーリレー基板に⑭内受電切換用コネクタ（**黒色**）が接続されていることを確認してください。

4. 電源回路および内外接続用ケーブルを接続してください。

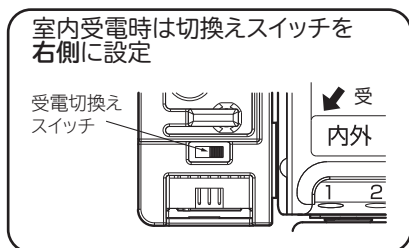
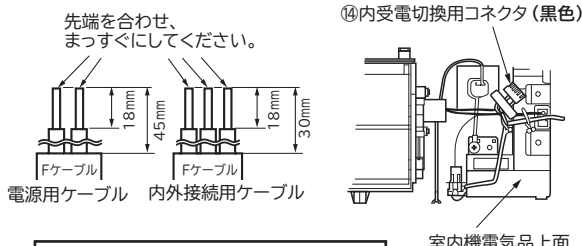
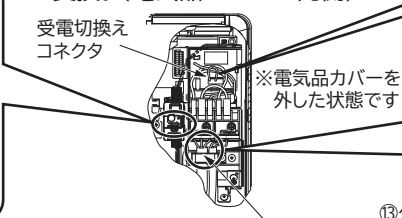
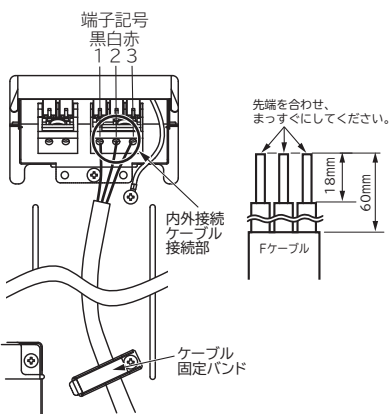
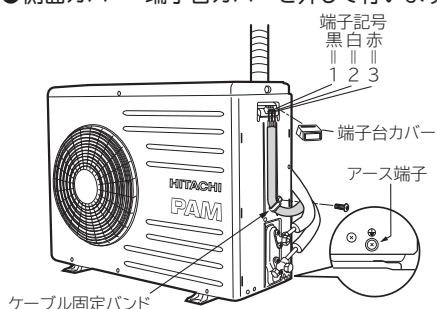
※ 電源回路のケーブルは接続用端子台の端子フタを取り外して接続してください。

5. 電源回路および内外接続用ケーブルを接続します。
6. 固定バンドで内外接続用ケーブルを固定してください。

※ ケーブル固定には、同梱している⑬ケーブル固定用バンドを使用します。

先端を合わせ、まっすぐにしてください。
18mm 45mm 18mm 30mm
Fケーブル Fケーブル
電源用ケーブル　内外接続用ケーブル

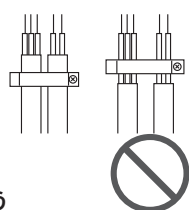
⑭内受電切換用コネクタ（**黒色**）
室内機電気品上面

⑭内受電切換用コネクタ（**黒色**）を接続
室内受電用

※室内受電時は受電切替えコネクタを⑭内受電切換用コネクタ（**黒色**）に変換。（電気品カバーの内側）

受電切換えコネクタ
※電気品カバーを外した状態です
1 2 3 R S
※銅線が見えないように挿入後、ケーブルを成形し、図示のように接続してください。
⑬ケーブル固定用バンド

室外機への接続方法

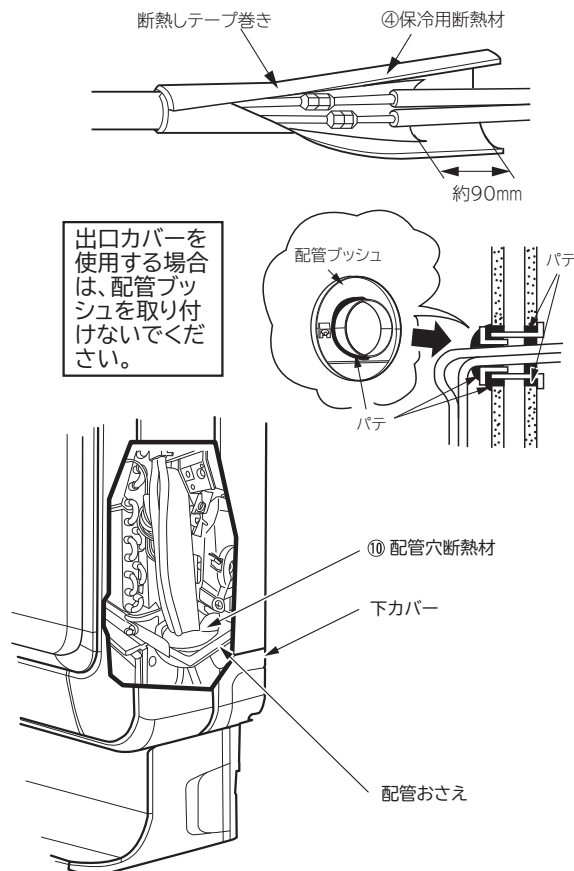
●側面カバー・端子台カバーを外して行います。

⚠警告

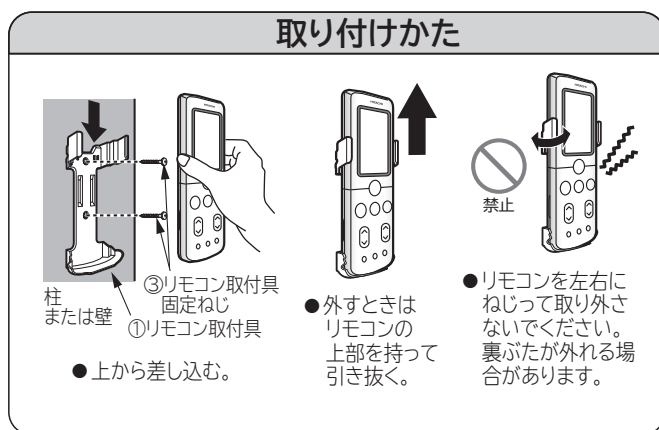
●Fケーブルはサービス時の作業性を考慮して余裕を持たせて、必ずケーブル固定バンドで止める

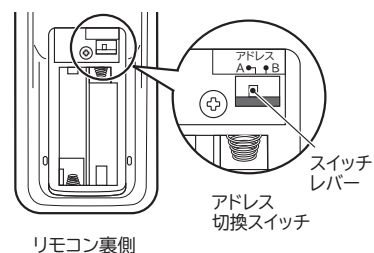
●ケーブル固定バンドで止めるときは、Fケーブルの外側の被覆部の上から確実に止め、接続部に外力が加わらないようにする
Fケーブルの接続部に外力が加わると、発熱・火災などの原因になります。

仕　上　げ

1 配管の断熱と仕上げ

●冷媒配管接続部は④保冷用断熱材で覆い、隙間のないようテープ巻きします。（P.6の「配管の接続」を参照）
●テープは締め過ぎないように巻きます。隙間があったり締め過ぎたりすると露たれの原因になります。
●配管おさえと配管の間の隙間を埋めるように、⑩配管穴断熱材を押し込んでください。
下カバーを外して行うと作業が容易にできます。
●P.2の「室内・室外機据付図」のように配管・Fケーブル等をテープ巻きし、配管カバー（別売）で壁に固定します。
●ドレンホースや配管が押入れや廊下など屋内を通る場合は、露付き防止のため④保冷用断熱材（不足するときはサービスパーツ品 部品番号：RAF-36Z 020）で覆い、断熱の強化をしてください。
●壁穴部と配管ブッシュ・配管のすき間を〔配管カバー（市販品）を使用した場合も〕パテにて完全にシールしてください。
シールが完全でないと、壁内や室外の高湿空気が浸入し、露たれの原因になります。
●別売部品の継手配管（SP-FSH）を使用した場合も、必ず付属の保冷用断熱材を使用して、P.6の「配管の接続」同様の断熱処置をしてください。
●パテによるシール作業を行う際に、置台前面のカバーと下カバーを取り外すと、容易に作業できます。
（P.4の「下カバーの取り外し」を参照）
●仕上げが完成しましたらフロントカバーを取り付けてください。
（P.10「フロントカバーの取り付けかた」を参照）

2 リモコンの固定

●リモコンはリモコン取付具で壁や柱に固定することができます。
●リモコンを固定したまま、エアコンを操作するときは信号がエアコンに確実に受信されることを確認してください。なお、蛍光灯により影響され信号が受信されなくなることがありますので、昼間でも点灯して確認してください。
●電子点灯形の照明器具がある場合は、受信距離が短くなることがあり、場合によっては信号を受け付けないことがあります。

取り付けかた

アドレス切換スイッチについて

2台の室内機を同じ部屋に据付けたときなど、リモコンの混信を防ぎたいときに使用します。アドレス切換スイッチは、リモコンの電池ふたを外したところにあります。（出荷時は「A」側に設定されています。）
●アドレス設定（混信防止）の方法
2台の室内機のうち、1台について設定を行います。（もう一方の室内機は電源を切ります。）
1 リモコンに乾電池を入れ、リセットスイッチを押します。
（取扱説明書P.14,15を参照してください。）
2 リモコンの送信部を室内機に向けた状態で、アドレス切換スイッチのスイッチレバーを「B」側に動かします。
3 「ピッ」という受信音がして、設定が終了します。
●アドレス設定後、リモコン操作をして動作することを確認してください。動作しない場合はスイッチレバーを「A」側に戻し、再度設定操作を行ってください。

3 アースと漏電遮断器

このエアコンは必ずアース工事をしてください

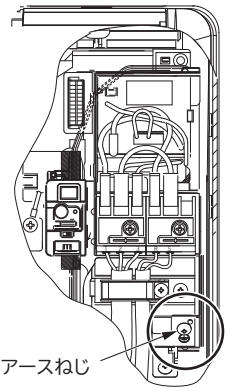
アース工事は「電気設備に関する技術基準」に従って実施してください。万一の感電事故を防止するほかに、製品に触れたときに感じる静電気の障害や、リモコン操作時にテレビ・ラジオに入る雑音を防ぐ効果もあります。

接地の基準

接地の基準はエアコンの電源電圧および設置場所により異なります。下表により接地工事を行ってください。

電源の条件	エアコンの種類 ＼ エアコン設置場所	水気のある場所に設置する場合	湿気のある場所に設置する場合	乾燥した場所に設置する場合
対地電圧150V以下の場合	100Vの機種（含単相3線式200Vの機種）		D種接地工事が必要です。（注ⓐ）	D種接地工事は法的には除外されていますが安全のため接地工事をしてください。
対地電圧150Vを越える場合	3相200Vの機種（含単相2線式200Vの機種）	漏電遮断器を取り付けさらにD種接地工事が必要です。（注ⓐ）		

D種接地工事について（注ⓐ）

- 接地工事は電気工事士の方が行ってください。
- 接地抵抗は100Ω以下であることを確認してください。ただし漏電遮断器を取り付けた場合は500Ω以下であることを確認してください。

⚠警告

- **室外機または室内機のどちらか一方から必ずアースを行う**
  アース端子は室外機のベース側面(サービスバルブ側)についています。なお、右上図のように室内機にもアースを接続することもできるようになっています。
- **必ずD種接地工事および、漏電遮断器設置工事を行う**
  設置場所によっては、万一漏電したときの感電防止のために法律で定められたD種接地工事と漏電遮断器の設置が義務づけられています。アース工事は、D種接地工事に適合したアース棒を使用して「電気設備に関する技術基準」に従って行ってください。アース端子は室外機のベース側面（サービスバルブ側）に付いています。アースをしますと感電防止のほかに製品に触れたときに感じる静電気の障害や、リモコン操作時にテレビ、ラジオに入る雑音を防ぐ効果もあります。
- **アース線は、次のようなところに接続しない**
  ①**ガス管**…引火や爆発のおそれがあります。
  ②**避雷針・電話のアース線**…落雷のとき、大きな電流が流れるおそれがあります。
  ③**水道管**…塩ビ管ではアースの役目を果たしません。また、金属管では電蝕のおそれがあります。
- **お客様にご説明の上、アース（接地）を行ってください**

4 試運転およびチェック

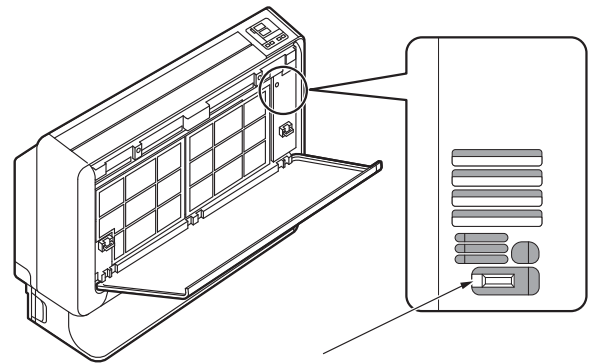
試運転

- 試運転を行いエアコンが正常に運転することを確認してください。
- 取扱説明書の手順で操作について「お客様」に説明してください。
- 室内機が動かない場合は、Fケーブルの誤接続がないか確認してください。

据え付けチェック

- P.16右下の「ルームエアコン据付点検カード」によりチェックします。

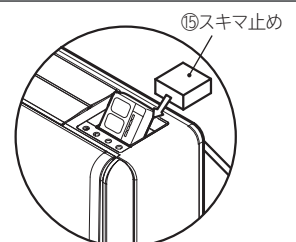
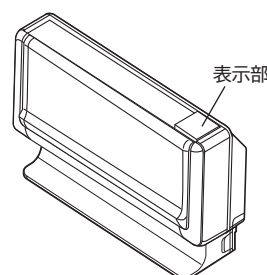
強制冷房運転

- 室内機の応急運転スイッチを5秒以上押すと、強制冷房運転になります。故障診断や、室外機に冷媒を回収するときに使用してください。
- 強制冷房運転中はタイマーランプが点滅します。
- 強制冷房運転を停止するときは応急運転スイッチを再び押すかリモコンで運転を停止してください。

5秒以上押し続けると強制冷房運転を開始します。止める時は、もう一度押すか、リモコンで運転を停止してください。

注意

サービスバルブのスピンドルを閉めた状態で5分以上運転しない

5 表示部のチルトアップ

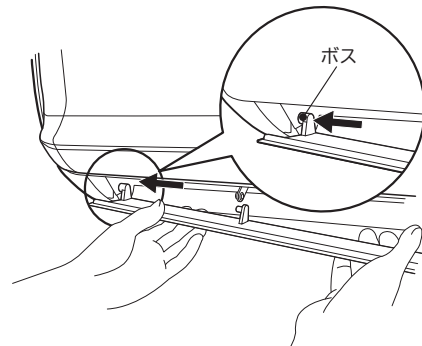
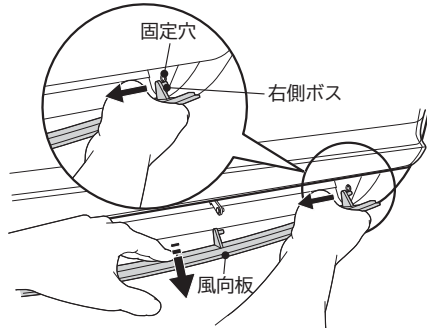
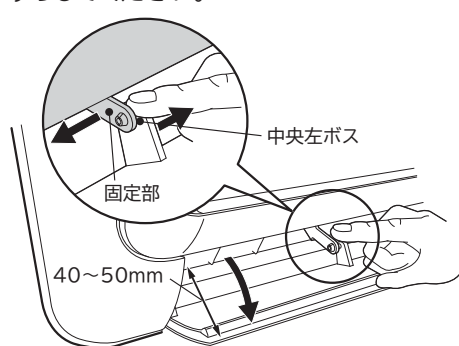
- 指で立ち上げることにより、室温と設定温度を座ったまま、チェックできます。

表示部の下に⑮スキマ止めを差し込みます。

下側風向板の着脱のしかた（サービス時）

下側風向板の取り外しかた

1 下側風向板を40～50mm開き、中央左側風向板の固定部を指で左へずらしながら、風向板の中央左ボスを固定穴から引き抜いて、手前側へずらしてください。中央右側も同様に固定部を右へずらしながら、中央右ボスを手前側へずらしてください。

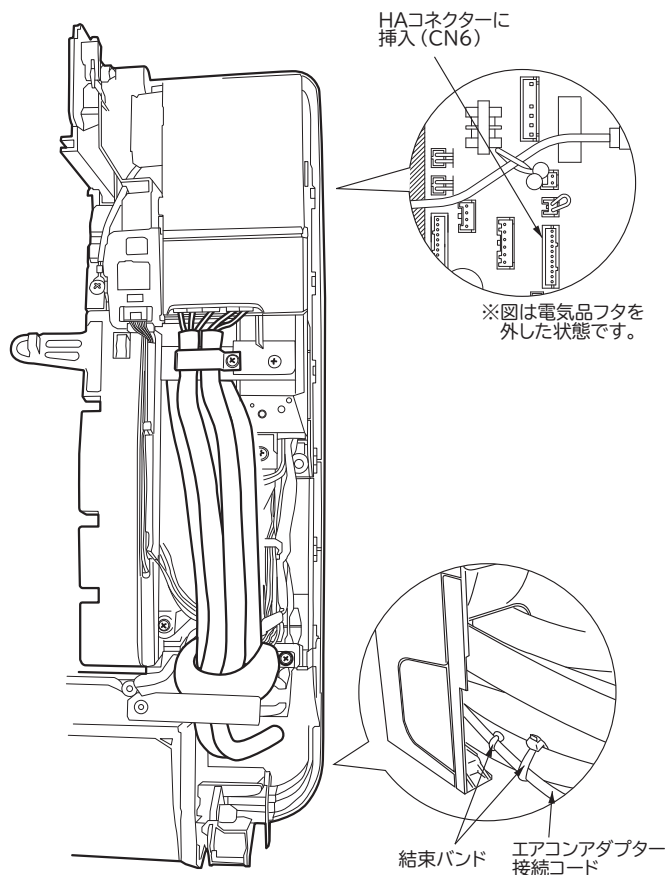
2 風向板を手前にしならせながら右側ボスを固定穴から左へ抜き、手前に引き付けながら取り外してください。

3 最後に風向板の左側ボスを右へスライドさせ、引き抜いてください。

下側風向板の取り付けかた

● 取り付けの際は、取り外しとは逆の手順で固定してください。

HAシステムと接続するとき

●HAシステムと接続するにはHA接続コード［SP-HAC1（別売り）］が必要です。
●フロントカバー、電気品フタを外し、上記のHA接続コードに付属の作業要領書に従い、配線を接続します。
●詳しくはHA機器に付属の取付説明書と合わせて、よくお読みください。
●フロントカバーの取り外しかた・取り付けかたを本説明書で確認してください。

キ…リ…ト…リ

お客様氏名	様		
（電話番号）	（　　）		
お客様住所			
機　種　名		製　造 番　号	
据付年月日		据　付 担当者	

ルームエアコン据付点検カード

（点検済みの項目の□の中に✓印を記入してください）

- □ 配管はR410A用を使用しましたか
- □ 輸送部品は、外しましたか
- □ 配管接続部のガス漏れはありませんか
- □ 接続ケーブルの接続は正しく確実ですか
- □ 除湿水は漏れずに、よく排水しますか　また、露受皿に除湿水がたまらないような傾斜で据え付けられていますか
- □ 配管接続部の断熱はしましたか
- □ 据付強度はじゅうぶんですか
- □ フロントカバー（フロントパネル・下側風向板）は確実に取り付けてあり、落下の危険はありませんか
- □ アースは正しくしてありますか
- □ 壁穴に保護パイプをつけましたか
- □ 壁穴部のシールは確実にしましたか
- □ 試運転をしましたか
- □ 取扱説明書の表紙に記載された形式名のうちの、据え付けた形式名の前に○印を付けましたか（取扱説明書が2機種以上の共用になっている場合）
- □ お客様に正しい取り扱い方と、運転のしかたを説明しましたか

キリトリ

サービス記録

年 月 日	サービス内容	サービス 担 当 者

キリトリ線から切りはなし、据付時の点検、サービスの記録として、お店で保管、ご使用ください。